



ホ 2
26
1



門 2
 號 26
 卷 1



轉々堂
 藏書

る	り	と	ほ	は	い
七十四 右	六十分 左	五十四 左	四十四 左	廿七 左	初丁
を	ぬ	ち	へ	に	ろ
七十五 左	七十三 左	六十二 左	五十二 左	廿九 右	廿四丁



わがひのよらつてのまゝの馬河のいひさる
 式よりわきあるまゝのいひさる
 さるくい事よのうらみていひさる
 人々のいひさるまゝのいひさる
 とらふ人のいひさるまゝのいひさる
 といひさるまゝのいひさる
 ひさるまゝのいひさる
 のいひさるまゝのいひさる
 のいひさるまゝのいひさる

文章假字用格序

黄葉園藏

うんくくうのうきせんいしあやまは
えわうしやうしあめかの式アうむたも
わがしやうのうきせんいしあやまは
うんくくの上よとせうしあやまは
文政十一年己丑九月

竹梅園主人

石川雅望

凡例

凡此書小載るる文字は音訓言語の雅俗は抱くべ日
用し便すやとれすべで集むるをたえられ六字ハ
雅俗も文章に用ふる所の文字は悉くわけてしは
其餘ハ假字はまじりてしは撰り出せり

文字異なりし訓同しきりハ其一ニ出でて餘ハ記さず譬
カハルと云ふ歸返復還旋回等ハ數字はるがごとく之
孰字に同音ハ文字はるがごとく亦ハ一ニ出れり
丁子ハ假名を見出らる部ハ四言ハ界引の上よやハ字ハ

條で見ざる

東引の外に記し置く假名の三言ふもあれ四言ふもあれ其部の第二言めは假名より分ちるれれと見やれんをせん

上ふまゝ一 丁子れ字おとせれば三言れ條より丁れ字は

見てあざむく一それれちまきとれは庖丁部の駕輿丁

部れ文字と搜し索めてそれ丁れ字の假名らちりれ

それよ子れ字と合せて見るべきに丁子れ假名まゝ一との

例りて餘も準てまざる

同ト文字と二言ふも三言ふもつゞれちとつゞ 龍ハ漢音

つゞり 吳音ハアツレハニタ所よつゞれ又同ト二言ふて

も假名れ違ふとつゞり法れ字漢音まゝ部の 吳音まゝ

部の

り入 かり音便よつゞれハワツル

法師れれハ

文字につゞるまゝ見る人字同トくく假名れ異る

てうまゝとれ

行の字音ハカクハそれれ常よつゞれに唱へ油の字

音ハツツツツツツ常みちゆれれれれれれ類ハ

ハ行ハかの部もこの部も油ハいの部もゆれ部も見ざる

すべて音訓れに頭字れ假名まぎつゞれハ幾所を檢

して尋ね搜すべし

假字引様

○界の上は假名文字よりてまゝなるに二字目の假名の文字とていふは(祝)とていふ如く見るに(祝)此部の三言の部此界の上とていふ所の下とていふ所のひとていふあり
 ○二字目も三字目もつらはの順ふまゝのひあつたまゝに
 見ん人そとていふまゝに
 此(右)とていふせて書て(右)三段四段ある上の段より
 此(真中)にある二段目も三段目より
 此(左)とていふ下段より
 此(左)とていふ下段より

文章假字用格卷之一

豊後 大藏永常著

伊部

一言

伊以異怡易己移夷肄貽詒飴倚猗姨頤圮彘

醫矣意懿衣依辰 寢寐眠宿膽射五

二言

色 いろ 倚廬 いろ 岩 いえ

石 いた 磐 いた 伊庭 いた 射場 いた

文章假字用格卷一

黄葉園藏

文章假字用格卷一	優 <small>字音</small>	因	引 <small>字音</small>	殷	姻	伊奈	出	板	烏賊
	いう	いん	いん	いん	いむ	いなか <small>氏</small>	いづて <small>いづて</small>	いさ	いさ <small>魚</small>
	遊	淫	飲	音	茵	緇	伊豆	磯	五日
	いう	いん	いん	いん	いむ	いなか <small>魚</small>	いづ <small>國名</small>	いそ	いさ <small>魚</small>
	友	忌	隱	姪	寅	苛	稻	稜威	出產後五日一當り
	いう	いむ <small>ミ</small>	いん	いん	いん	いら	いね <small>穀</small>	いづ <small>健きこと</small>	
	幽	禁	陰	印	胤	寐	何時	伊豫	國名
	いう	いむ <small>ミ</small>	いん	いん <small>印章印判のこと</small>	いん	いね <small>いぬともいふ</small>	いつ	いよ <small>國名</small>	

黄葉園藏

紙鳶	射	煎	犬	壹	糸	室	宅	五百
いさ <small>弓</small>	いさ <small>弓</small>	いさ <small>弓</small>	いぬ <small>獸</small>	いち	いと	いち	いち	いふ
刺	悠陽	狗	意地	最	幼	舍	廬	
いさ <small>小兒戲玩の具まて</small>	いさ <small>日のり</small>	いぬ <small>獸</small>	いち	いと <small>いさともいふ</small>	いと	いち	いふ <small>いさともいふ</small>	
衣架	毛毬	入	鑄	逸	屋	庵		
いさ <small>衣折と同じ衣類を</small>	いさ <small>栗の</small>	いさ <small>あはまを</small>	いさ	いち <small>幼少をいさか</small>	いち	いふ		
伊賀	没	熬	炒	市	絲	亭	家	
いさ <small>國名</small>	いさ <small>日のりを日没と云</small>	いさ <small>いさ</small>	いさ <small>いさ</small>	いち	いと	いち	いち	

二言

文章假字用格卷一	岩根	三言	擣	疱瘡	言	異事	異儀	勅	乞	邑	姨夫	以下	彌	生	游	憂	祐
	いんね	さんごん	いす <small>木</small>	いも <small>今ハ字音ヨクヨクヨクヨク</small>	いひ	いじ <small>常ニことあること</small>	いぎ <small>異論あること</small>	いき <small>馬具</small>	いで <small>發語</small>	いふ	いふ <small>まじらふ</small>	いげ	いや	いく <small>いき</small>	いう	いう	いう
	屯		椅子	薯蓣	械	石	夢	意氣	本來	以後	揖	池	幾	猶	由	誘	
	いんぼ <small>あつまること</small>		いす <small>腰受け</small>	いも <small>菜</small>	いひ	い	いめ <small>今ハめと音通</small>	いき	いざ	いご	いふ	いけ	いく <small>もの重きを云レヤク</small>	いう	いう	いう	
	岩井			妹	飯	意志	鵲	愈	卒	愈	謂	辭	育	又	油	宥	
	いんね <small>氏</small>			いも	いひ <small>食</small>	い <small>腋の穴を通るを今ハ種のこと</small>	い <small>俗ハ心いきまが</small>	い <small>いへ</small>	いざ <small>人をさすこと</small>	い <small>いへ</small>	い <small>いへ</small>	い <small>いへ</small>	い <small>いへ</small>	い <small>いへ</small>	い <small>いへ</small>	い <small>いへ</small>	い <small>いへ</small>
	曰			伊勢	芋	醫師	意味	壹岐	息	弓手	異父	云	今	往	右	抽	有
	いひ			いせ <small>國名</small>	いも <small>菜</small>	い	い <small>こ</small>	いき <small>國名</small>	い <small>息</small>	い <small>弓の射手</small>	い <small>ちのち</small>	い <small>い</small>	いま	い <small>い</small>	いう	いう	いう

黄葉園藏

い二言

二

二言 三言

三

窟 いとち
岩間 いとち氏
驚駭 いとけ
嬰兒をいとけ
いとち氏

喘息 いとけ上よおか
磐手 いとち地名
岩出 いとち氏
岩城 いとち氏

嘶 いとけ馬の鳴なり
石見 いとち國名
賀 いとち

祝 いとち
岩瀬 いとち氏
庵 いちり
廬 いちり

異別 いとちこころ
彌 いとち
專 いとち
竈馬 いとち虫

挑 いとち
伊藤 いとち氏
追 いとち

暇 いとち
厭 いとちひんがし
一把 いとち一たね
覆盆子 いとち草

一羽 いとち鳥
一途 いとち
一字 いとち
茵 いとち草

一座 いとち
一儀 いとち
一坐 いとち

苧麻 いとち草
櫛 いとち木
赤檮 いとち木

煎海鼠 いりこ
曲江 いりえ
岾 いりひ
赤檮 いとち木

斜陽 いりひ
寢 いぬ
寢 いぬ
逝 いぬ去る

往太 いぬ上よ同ト
乾 いぬ
香藥 いぬ草
納 いとち

容 いとち
江豚 いとち魚
鮓飾 いとち魚
異類 いとち異類異形とふけり

已往 いとち以前往事とよ
硫黄 いとち藥
鰯 いとち魚

碇 いとち舟具
嗔 いとち
如何 いとち

筏 いとち竹木をあらたなるなり
桴 いとち上よ同ト
範 いとち鑄物のい
鎔 いとち上よ同ト

型 いとち上よ同ト
邪 いとち斜よまがる
斜 いとち上よ同ト
啞 いとち犬のい

文章假字用格卷一
い
黄葉園藏

嗶 上1同ト いがむ 生野 讃岐 郷名 いらの 描 俗1ろけと云 蔭繪なり いらけ

伊香子 氏 いろこ 籍 飯島 郷名 いろさき 嚴 嚴重なること いらー

貽貝 貝 いかひ 落日 入り日を落照落暉 あらむもつり りりひ 納日 厳重なること いろひ

存 生と同ト いろん 彌 畿内にていろこ関東とそ ざる九州にてまろけと云 いろい 馳鼠 獸 いろち

至 生と同ト いろりる 到 入り日を落照落暉 あらむもつり いろりる 痛 聖人の道と異なる いろむ

傷 いじむいじむ 悼 追悼のこと いろむ 異端 聖人の道と異なる いろん 抱 きそふとおかす いろん

醫道 いだり 異宅 別宅と同ト いろく 移宅 上1同ト いろく 急 あつとふなり いろぐ

伊丹 地名 氏 いたく 折傷木 木 いろひ 致 いせい 醫療 いりょう 伊丹 地名 いたく

磯邊 いそぎ 竿井 信濃 郷名 いろお 夷則 律の名七月 いろく 急 あつとふなり いろぐ

跣 いそぎ 石生 丹波 郷名 いろふ 争 きそふとおかす いろふ 急 あつとふなり いろぐ

勤 いそぎ 出 いそぎ 何地 いづち 早晩 いつら 何 いづれ 何等 いづら

弋 飛鳥を射る 出 いそぎ 就 いづれ 甚麼 いづれ 何等 いづら

什麼 上1同ト 俗語 出 いそぎ 就 いづれ 甚麼 いづれ 何等 いづら

何國 いづく 何處 いづく 寵 いづく 泉 いづく 每 いづも

儼 嚴重のころ 和泉 國名 いづみ 泉 いづみ 每 いづも

恒 いづも 朝暮 いづも 四時 いづも 異念 いねん

因幡 國名 固辭 いかに 固辭 固辭とくくといふ 固くおこいする 不諾 いかに

各蟲 いかに 引佐 遠江 郡名 いかさ 印南 播磨 郷名 いかひ

文章假字用格卷一 ① 黄葉園藏

て え こ よ け ま や くれ の う む ら

倚頼 いらい

字音をうたのこし
まろこしあり

報 いら

荅 いら

唯 應答をいふ
いらい

諾 いらい

苛 心のいら
いら

倚蘭 いらん

倚蘭 操ハ琴曲の
名なり
いんち

薨 瓦少きの屋根
いんち

忌部 いんべ氏
いんべ

印度 天竺
いんど

印地 印地行といふ戲ま
いんち

印可 いんか
いんか

霽雨 かたあらし
いんち

音呼 字音
いんこ

隱士 いんし

印子 金の位のもの
いんす

蝻 小蟹
いむき

生見 いんこ

游家 いゆうか

猶豫 ためらふこと
いゆうよ

有餘 あまひちぎ
いゆうよ

遊戯 いうげ

優美 いゆうび

壽 いのち

命 いのち

祈 いのり

伊織 官名
いおり

盲波 淡路 郷名
いぐち

兔缺 三ツくちのこ
いぐち

缺唇 いぐち

何日 いにく

生田 地名 攝津
いにく

軍 いにく

醫藥 いやく

賤 いや

界 いや

劣 いや

愈 いや

未 いま

乃 な

汝 あんぢとてい同ト
いま

坐 いま

異言 敬ひあはさるゝくおま
まんと同意なり
いげん

意見 いげん

生 いけ

籊 つくもつ又花を
いけ

異風 常こころある風俗あり
いふう

伊吹 地名
いふう

籊 魚をたくと置く所
いけす

籊 上同ト
いけ

安忍 いざり

心つよくなすけ
いざり

醫國 上医ハ國を医くと
いざり

圓柏 いぶき 木

異國 外國をいふ
いこく

生駒 地名もあり
いこま

息 いこ

怡悦 字音こよろこぶこと
いこ

休 上同ト
いとひ

憇 上同ト
いとひ

療 療治なり
いさる

怡悦 字音こよろこぶこと
いこ

中矢 矢を射ちていふこと
いえて

治 いさる

異體 いそ

異朝 外國をいふ
いそ

文章假字用格卷一 (い)

黄葉園藏

(い) 三言

五

岩門	いとど	岩陰	いとかげ	岩茸	いとたけ <small>菌</small>	磐余野	いとれの
射外	いとづら	磐梨	いとが <small>木</small>	茨木	いととこ <small>氏</small>	況	いとんや
矧	いとんや	磐戸	いとのと	岩崩	いととえ	磐座	いとくら
岩倉	いとくら	<small>地名なり京師の四方 ここの称なり</small>	岩松	岩崩	いとまろ <small>氏</small>	岩淵	いとぶら <small>氏</small>
岩苔	いとこけ	岩崎	所謂	卷柏	いとゆる	岩代	いとしろ
<small>紀伊の國日高郡の 地名なり</small>		丹波草	卷柏	五百機	いとひ <small>草</small>	石長生	いとひ <small>草</small>
古	いよこ	往古	五百機	五百機	いととこ	五百川	いとが <small>氏</small>
朧目	いなのめ	蟪蛄	鶺鴒	鶺鴒	いとと	兔葵	いとれ <small>草</small>
雖	いとも	家主	家主	家主	いとつ	家繼	いとつ

家子	いとこのこ	最愛	いとかり	糸川	いとが <small>氏</small>	金線魚	いとりの <small>魚</small>
營	いんがむ	經營	いんがむ	條	いとぢび <small>糸と紐おび</small>	糸鞋	いとが <small>氏</small>
縦	いんがむ	綴射	いとやみ	緒	いとと	糸捲	いとま <small>氏</small>
類	いんがむ	綴射	いとやみ	遊糸	いとと	従身煎	いとこ <small>氏</small>
<small>糸の類なり</small>		糸水	いとと	糸尻	いとと	線	いとす <small>氏</small>
陽炎	いとと	級	いとす <small>氏</small>	一鑑	いとら <small>金</small>	一籠	いとら <small>氏</small>
市原	いとら <small>氏</small>	市橋	いとら <small>氏</small>	鳶尾	いとら <small>草</small>	一同	いとら <small>氏</small>
一軸	いちぢく	無花果	いちぢく <small>木</small>	一流	いちぢく	一粒	いちぢく <small>米穀</small>

文章假字用格卷一

①

黄葉園藏

一類	いちるい	一往	いちろう	一椀	いちらん	一槩	いちがい
一蓋	いちがい	一代	いちだい	一薦	いちせん	意地無地	いちむぢ
一院	いちえん	一合	いちがふ	一户	いちの	一應	いちおう
一隅	いちぐう	一合	いちがふ	肆	いちがら	一陽	いちやう
一樣	いちやう	一合	いちがふ	肆	いちがら	一陽	いちやう
一腰	いちよう	一葉	いちえふ	一帖	いちてふ	一貼	いちてふ
一疊	いちじゆ	一條	いちじゆ	逸足	いちあ	駿足	いちあ
移住	いちぢう	一命	いちめい	一尋	いちじん	一仗	いちじやう
一汁	いちぢゆ	一圓	いちえん	市姫	いちひめ	逸物	いちぶつ

田曲	いりまが	入用	いりよう	煎釜	いりかべ	炒鍋	いりかべ
曲折	いりまが	入組	いりぐみ	煎豆	いりまめ	入込	いりここ
日没	いりあひ	薄暮	いりあひ	晚鐘	いりあひ	入綾	いりあや
煎炭	いりすす	熬酒	いりさけ	入汐	いりあし	鴈	いりかり
奴柘	いぬつげ	犬養	いぬかう	馬蓼	いぬさで	荳草	いぬさで
釣夫	いさつり	漁罟	いさあ	薑植	いぬま	狼尾草	いぬひえ
何處	いさつが	鷓鴣	いさつが	商陸	いさすさ	斑鳩	いさつが
雷	いさづち	五十嵐	いさづち	盞	いさんそ	椀人	いさつが

文章假字用格卷一

い

黄葉園藏

如何様 いさう

釦 鍋金のいさけ

争 いさてり

何體 いさてい

魏敷 いまい

器量 いさめり

幼氣 いさいけ

愈 いよく

彌 いよく

森々 いさささ

幼氣 いさいけ

板橋 いさかひ

勞 いさなり

苦痛 いさく

煩 いさなり

虎杖 いさざり

板銀 いさぎね

無用 いさづら

徒 いさづら

巔 いさかき

戴 いさく

苦痛 いさく

徒 いさづら

閑 いさづら

平題箭 いさづき

衡鏑 いさづき

不致 いさまへ

板倉 いさくら

板縁 いさえん

板坂 いささか

不致 いさまへ

板敷 いさふき

則 いさづき

黥 いさづき

鬧 いさぐり

鬧忙 いさぐり

磯貝 いそがひ

五十君 いそきき

功勳 いそぐり

一遊 いそぐり

詐 いさぐり

偽 いさぐり

一杯 いさぐり

泉原 いそがら

一俵 いさぐり

一柄 いさぐり

一統 いさぐり

何方 いさぐり

一階 いさぐり

沃懸 いさぐり

一肴 いさぐり

何然 いさぐり

一黨 いさぐり

一體 いさぐり

何茂 いさぐり

日外 いさぐり

向太 いさぐり

五緒 いさぐり

一通 いさぐり

一顆 いさぐり

嚴 いさぐり

一花 いさぐり

一景 いさぐり

逸景 いさぐり

一封 いさぐり

一喉 いさぐり

何頃 いさぐり

逸徹 いさぐり

文章假字用格卷一

黄葉園藏

そき

たよ

つ

勤功とさう

車より後然草より必入より

地名

今の戯射に用ふる箭なり

入墨の義からうまてい入やぐり

上同ト

上同ト

たが板をてしりも又地名

いさづらーの義

山

氏

氏

時繪のいさぐり

神佛の像より

珠玉より土塊より

痛く惜む義なり

敢決強直の謂之又一鉄も

一葉

いつさい

一切

いつさい

一才

いつさい

一艘

いつさい舟

逸民

いつえん

一支苦

いつく

一笑

いつせう

一聲

いつせい

一睡

いつすい

禾鉤

いねこぎ

稻扱

いねこぎ農具

稻垣

いねがき氏

電

電光

いんぼま

稻妻

いんぼま

嘶

馬の啼をい

いんぼく

稻村

いんぼく

蝗

いかむし虫

稻目

いんぼめ

利鬼

いらむ聲

困

稲倉あり

いんぼく

印南野

いんなんの

地名播磨印南郡あり

印籠

利鬼

いらむ聲

蝘

稲倉あり

いんぼく

不入

いらざる

印籠

いんぼく器

印判

いんぼん

印肉

いんぼく

印色

いんしき

引入

いんしき

姪犯

いんしき

隱遁

いんしき

陰德

人より功徳をいふ功

茵陳

いんちん草

姪欲

いんぼく

引導

いんどう

印子

いんし

引卒

いんし祇園をいふ小児の

陰囊

いんぼく人身

姪亂

いんらん

陰陽

いんやう

隱元

いんげん人名

陰火

いんか

因果

いんぐわ

應帝

舶来の草の名

音札

いんさつ

印材

いんざい

慇懃

いんぎん

姪虚

いんきょ

陰虚

いんきょ

隱居

いんきょ

音信

いんしん

音書

いんしよ

淫泆

いんしよ

瘡疹

いんしん病名

隱者

いんしや

音問

いんもん

音物

いんぶつ

引接

いんせつ引事一同ト心あり

陰晴

天氣のころりそくそく

いんせい

淫精

いんせい

陰翳

いんさう月の水をいふ異なり

誘引

いんしん

優遊

いんしん

文章假字用格卷一

①

黄葉園藏

射中 いあてる

績 いさを

豪傑 いさを

訓義いさ雄々あさ義
うれいさうけつをいさめり

功 功勲あつをい いさを

諍 喧嘩のこい いさを

聞諍 いさを

喧逐 いさを

卒川 地名 いざがひ

十六夜 いざよひ

既望 いざよひ

猶豫 いざよひ

誘 いざかひ

倡引 いざかひ

小井 少いさ流の細溝をい いざらお

假初 万葉に見ゆりその義 いざらめ

早日 いざらめ

聊 いざらめ

小 いざらめ

屑少 いざらめ

活々 いまぐ

勢 いまぐ

權重 いまぐ

息疾 いまぐ

意氣方 いまぐ

息絶 いまぐ

努力 つとめまげむ いまぐ

息杖 いさつ いまぐ

景天 草 いまぐ

異隔 異類異形 いまぐ

異郷 他郷といふ同 いまぐ

異香 いまぐ

つらことあるま いまぐ

異形 異類異形 いまぐ

發憤 いさむ いまぐ

いさむれんが息のせは いまぐ

敦圀 上同 いまぐ

嗟 善惡いさ いまぐ

心端 いさむ いまぐ

氣機 上同 いまぐ

伊美敷 いさ いまぐ

善惡いさ いまぐ

忌明 いさ いまぐ

異名 いさ いまぐ

石橋 石をてらけ いまぐ

砭 石橋 いまぐ

石灰 いさ いまぐ

砭 針治の具 いまぐ

石原 氏 いまぐ

石垣 いさ いまぐ

秦龜 山中に住む龜をい いまぐ

石蟹 いさ いまぐ

衣食 いさ いまぐ

石壇 いさ いまぐ

石堂 いさ いまぐ

磨 いさ いまぐ

石臼 いさ いまぐ

磴 石臼 いまぐ

石突 刀鎗 いまぐ

罇 いさ いまぐ

長刀鎗の底を云平あるを
罇といひしを鐵と云 いまぐ

鐵 上同 いまぐ

石塚 いさ いまぐ

石村 いさ いまぐ

石占 いさ いまぐ

幸神石を置てその輕
重を吉凶をトするを云 衣裳 いさ いまぐ

投石 石を投げ いまぐ

鍾乳 藥品の鍾乳石 いまぐ

以上 いさ いまぐ

文章假字用格卷一

石丸 いさ いまぐ

意真慈 いさ いまぐ

①

四言

五言

十四

石韋 いそりのうら 草

石薜 いそぶすう 草

石菟 いそやぶさき 草

岩枕 いそまくら 哥の詞あり

石菖 いそあやめ 草

石清水 いそしみず 八幡宮鎮座あり 地名

過年 いふしと 前年先年と云ふ同

蝻螂 いざむし 虫

主人公 いしのきみ 今俗に旦那と云ふ非

家風 いとのうぜ 家風といふよおわたり常一 一家を立つと云ふ此心なり

寵愛 いとわい うらやま

賃屋 いせやう

芋 いづついも 菜

糸威 いとむし 鏡

最強 いそつう

最安 いそやす 糸の敷なり

遑 いそあわ

紡車 いとぐるま 器

暇乞 いとまごひ

告辭 いとまごひ

幼稚 いとけい

族父 いそむぢ

從姪 いそこのこ

堂妹婿 いとこむこ

從嫂 いとこよめ

糸櫻 いとざくら あぶら桜のこころ

幼 いとこ

鍾愛 いそあひ あはれ

厭兼 いとひらね

厭果 いとひなて あはれをいふ同

一日程 いそひら あはれ

嚴捷 いそしやう あはれ

早卒 いそそつ

一重 いそぶら

一丈 いそぶら 十尺を二丈といふ

一定 いそぢやう

一錠 いそぢりやう 金銀より

一里塚 いそりづら 海道一里毎に左右あり

里塚 いそりづら 一里塚

一領 いそりやう 鎧具足より

一輛 いそりやう 車より

一兩 いそりやう 量目今六匁をいふ

成市 いそちやう うらやまあり

一大事 いそぢい

一宮 いそみや 國々あり二宮三宮あり

闌 いそら

市正 いそぢい 官名

一卷 いそくま 書物より

一行 いそぎやう

市女笠 いちめがさ 器

灼然 いそつらう いそげとそれと明らかり

文章假字用格卷一

①

黄葉園藏

著

明白あつてい
いちぢやく

炳然

いちぢやく

著明

いちぢやく

一旬

十日をい
いちぢやく

一巡

ひくちやくのま
いちぢやく

一熟

いちぢやく

入違

いりちがひ

入替

いりかひ

入亂

いりまじ

小藤

いねさつぎ木

麻黄

いねさつぎ草

葶藶

いねあづか草

千年艾

いねよもぎ草

狗蠅

いぬぢやく虫

鯁

いさをね魚骨

鰈

いさをね魚

若箇

いりぢやく

杜父魚

いりぢやく魚

何為

いんがせん
俗よまごかたなりと云ふ同ト

若為

いんがせん

伊賀專

いげたうめ

紙鳶

いりのかり
源氏物語に見ゆ狐をいりぢやく

何也

いんがせん

海蝶蛸

いりのふ

風禽

いりのかり
上同ト

毫兒

いりのかり
小兒戯玩の具今江戸にたことり

伊香故山

いりぢやく近江地名

不畏

いりぢやく
おそろしきことり同ト

不戴

いりぢやく
上同ト

痛入

いりぢやく

勞敷

いりぢやく

板庇

いりぢやく

流矢

いりぢやく
あがんやのことなり

文蛤

いりぢやく貝

劄青

いりぢやく
今俗いりぢやくのこと

膚劄

いりぢやく
上同ト

點青

いりぢやく

内子菱

いりぢやく
添小紋の名

沓蓋

いりぢやく

入子鉢

いりぢやく器

鬧

いりぢやく

磯宮

いりぢやく
伊勢のこと

石上

いりぢやく
大和の郷名まこと枕詞

一派立

いりぢやく
一流とらふ同ト

何迎

いりぢやく

一張

いりぢやく

一町

いりぢやく
道のり三十六間をい

一丁

いりぢやく
駕鋤鉄のこと

一挺

いりぢやく
墨をい

一炷

いりぢやく
香具のこと

孰早

いりぢやく

文章假字用格卷一

⑤

黄葉園藏

仁 い 慈 い 恩惠 い

安 い 焉 い 一管 い 笛

一貫 い 一會 い 一曲 い

嚴島 い 安藝の地名まこと
宮萬もい

逸興 い 一興 い 一脚 い 几をい

泉川 い 山城の國相樂郡よりあり
今の木津川といふ

終身 い 一唱 い 一生 い

一尺 い 一勺 い 一升 い 十合をい

一縮 い 一宿 い 一周忌 い 佛事へ小祥忌と同

小祥 い 禾擔 い 難寢 い

反側 い 寢安 い 因幡山 い 因幡の法美郡よりあり

野様 い 村装 い 蛭蝻 い 虫

電 い 霹靂 い 閃電 い

掣電 い 不入物 い 長物 い

郎姫 い 羊桃 い 伊羅胡崎 い 三河の渥美郡よりあり

印匠 い 引卒 い 音呼鳥 い 鳥

印形 い 陰莖 い 飲食 い

遊興 い 優長 い 有識 い

文章假字用格卷一 い 黄葉園藏

禱死 いのちごひ
連翹 つらね
郁李仁 いりごん

幾許 いくそむく
幾多 いくそむく
幾永 いくながく

幾廻 いくまわり
幾万里 いくまんり
將軍 しやうじん

士卒 しよそ
艨艟 しよさぶね
戰艘 せんそう

艦 せんぱん
幾久 いくひさ
再從兄弟 さいじゆんてい

苟 いやく
彌上 いやくがう
凶 いまく

今參 いままあり
今出川 いまでがわ
新好 しんこう

含靈 いけもの
不忍者 いづりもの
道說 だうせつ

向道 いよめ
言儘 いよまふ
生駒山 いこまやま

難愈 いそがし
漁舟 いさなりぶね
勇魚取 いさなとり

被唱 いそがし
潦水 いさらみづ
異相人 いさうじん

不知哉川 いそやがわ
勇敷 いさまりき
殘本 いさほん

潔 いそぎよ
淨 いそぎよ
生佛 いそがしけ

憤 いそどわり
愠 いそどわり
於邑 いそどわり

悶 いそどわり
生靈 いそたま
蘓 いそろく

更生 いそろく
生見玉 いそみたま
窮鬼 いそがし

旛 いそたま
甍 いそたま
鶴鴿 いそがし

磔 いそたま
石帶 いそたま
砮 いそたま

文章假字用格卷一
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿
黄葉園藏

五言

十七

言静	言覺	言防	言廻	許嫁	言繫	言傳	言散	碓車
いひまぢり	いひさとし	いひせむ	いひまぢり	いひめかけ	いひつめ	いひつめ	いひちり	いひくま <small>器</small>
言凌	言嘖	言合	言負	言碎	言宥	言募	言堅	言釋
いひあがり	いひささ	いひあひ	いひまけ	いひくさ	いひめぢり	いひつめ	いひさめ	いひやく
言噤	言究	言當	言會	錫	言靡	言綴	言損	言隔
いひすくめ	いひきりめ	いひあてる	いひあひ	いひくさ <small>飯のよめ</small>	いひめひけ	いひつめ	いひそん	いひへら

五言

十八

伊勢椿	芋洗	芋魁	妹夫	義妹	芋名月	芋磨	芋黄	妹背山
いせつばき <small>木</small>	いもあらひ	いもがし <small>菜</small>	いもむこ	いもとらん	いもかづ <small>八月十五夜</small>	いもあらひ <small>器</small>	いものこ <small>菜</small>	いもせやま <small>紀伊の伊都郡あり</small>
五十鈴川	一口	迷色	勝朧	磐手森	磐櫂樟船	溺白塗	况夫	石遊
いづながわ	いもあひ <small>地名</small>	いろまら	いそり <small>小便のこと</small>	いそで <small>根津上葛郡あり</small>	いそくばね <small>神代紀に見えり</small>	いそりのを	いそやとれ	いそとが <small>神</small>
文章假字用格卷一	六言	岩砦	岩砦	文章假字用格卷一	文章假字用格卷一	文章假字用格卷一	文章假字用格卷一	文章假字用格卷一

黄葉園藏

岩木濱 いそぎのまま

万葉に見えたり今の十町
むらうこむらり

岩漏水 いそぎのま

家長 いそぎのま

五百代小田 いそぎのま

哀不忍聴 いそぎのま

最假初 いそぎのま

最尊 いそぎのま

最媚 いそぎのま

不違 いそぎのま

念 いそぎのま

鴉尾草 いそぎのま

一捻紅 いちてんこう

山薑 いそぎのま

一志浦 いちしほら

龍葵 いそぎのま

西北風 いそぎのま

牽牛 いそぎのま

野豌豆 いそぎのま

犬追物 いそぎのま

厲風 いそぎのま

犬谷 いそぎのま

入佐山 いそぎのま

澤瀉 いそぎのま

鹿藿 いそぎのま

孰謂 いそぎのま

魚丁 いそぎのま

青黄鶯 いそぎのま

痛々敷 いそぎのま

唆物喰 いそぎのま

伊香保沼 いそぎのま

食言 いそぎのま

板敷山 いそぎのま

磯間浦 いそぎのま

壁生草 いそぎのま

一簞食 いそぎのま

五重 いそぎのま

一揆起 いそぎのま

一風流 いそぎのま

齋童 いそぎのま

稻舂蟹 いそぎのま

齋院 いそぎのま

齋宮 いそぎのま

印池 いそぎのま

苛心 いそぎのま

淫白魚 いそぎのま

射向袖 いそぎのま

隱遁者 いそぎのま

結印 いそぎのま

隱居所 いそぎのま

隱元豆 いそぎのま

扁豆 いそぎのま

陰氣成事 いそぎのま

文章假字用格卷一

⑤

黄葉園藏

五言 六言

十九

苛々敷 いりりりりりり 遊宴地 いりえんのみち 壽 いのちがら

天命 いのちまじり 射塚 いひくごころ 異口同音 いりくどうおん

生田浦 いけたのうら 幾万歳 いそまんざい 戎車 いそりま

良將 いよしのこ 彌高山 いよたかやま 彌衰 いよわろ

彌珠 いよくまぐら 忌々敷 いよあし 今般時 いまのとき

池塘 いけのぼり 陂頭 いけのぼり 鯪魚 いけいのみ

無言甲斐 いふみあひ 是當人 いそとよひ 有功人 いさきひと

片子 いそらあし 勇猛 いそたけ 車螯 いそあし

石橋山 いそはしやま 相模の國足柄の下の郡あり古戰場なり いそはしやま 石燈籠 いそとうろう

石鳥居 いそのりか 石華表 いそのりか 石山寺 いそやまでら

石盤 いそらた 石鹽沼 いそしほ 駁船 いそふね

砌磷 いそらけ 言外 いそそと 言傾 いそさか

言刷 いそら 失聲 いそそと 言宥 いそな

言慣 いそら 言旬 いそしほ 炊湯 いそたぎ

言拵 いそら 句當 いそあし 言妨 いそさか

姨 いも 姨 いも 言妨 いそさか

七言

岩紺青 いそくろ 茨住吉 いそむけ

文章假字用格卷一 いそくろ 繪具 いそくろ 黄葉園藏 いそくろ

緯車

ひつりひつりま

糸毛車

ひつげのくま

紫羅傘

むらさきのかさ

一兩輩

むらさきうすの

一河流

むらたのせせ

一字千金

むらトせんきん

文字一字とひとしと千金よ

一樹蔭

むらトのかげ

古諺一樹の蔭の雨やどり一河の流を汲も他生の縁とすことあり

一文不通

むらりんよつり

残照

むらひのひかり

入野都

むらりのみやこ

晚鐘

むらあひのかね

怒間敷

むらうまうし

唼物作

むらものつくり

蔓椒

むらちりやう

載餅

むらきりらひ

正月元日稚童の頭餅を置てりふなり

劇職

むらぐささや

一瓢飲

むらぐさのいん

一向宗

むらうまう

一天四海

むらてんたうい

寵愛

むらさうまづ

一騎當千

むらさたうせん

一生涯

むらまうがひ

一瞬間

むらまのま

一子相傳

むらさうでん

一心不亂

むらしんよらん

一紙半錢

むらはんせん

如例

むらものごとく

矮人

むらせんがう

一炊夢

むらすのゆめ

盧生が黄梁の夢の故事
世に云邯鄲の夢枕なり

春黍

むらつここまう

蝨蠶

むらつこまう

慣稻簞

むらつこひら

文章假字用格卷一

黄葉園藏

稻負鳥

古今集三鳥の一
いんおかせどり鳥

平形誦珠

いらたうあひん佛具

殷紂王

いんのちうじう人名

淫羊藿

いんやうくわく草

忌火御飯

忌事根源に見えり
いんこのごもん

陰蝕瘡

いんあうくさ病

存命

いのちめがし

命全

いのちまうし

居無何

いけむもが

未幾

いけむもが

起兵

いささをおこし

時勢粧

いまやうすま富世風といふは同

活殺

いけつころし

放生

いけををさかす放生會なり八月十五日八幡宮にて八神事

十六夜月

いざよひのつき

異香薰

いさかうくんよのつひからぬよき香といふ

生松原

筑前の早良郡
いこのまつもと

石割雪踏

いせりせつふみ

石打征矢

石打ハ鷹の羽の名
いしうちりのや

穿山甲

いしやうが鯢鯉皮なり

搨石碑

いざしをうり

言繫置

いひつらさか

八言

岩本渡

いそりのせうり地名

廬戸都

いりどのみや大和

絲竹遊

琴笛を合せあそぶをいふ
いとたけのあそび

一日三秋

いちにちさんしゅう一日を三年やとふ待遠いありといふ

一陽来復

十一月より一陽氣の来ると云
いちやうらいふく

一業所感

いちごうしょくかん一の善事一の悪事ガ業因とゆふを云

一事兩様

一ことかふた通りをいふこと
いちじうらうさう

市姫社

いちひめのやしろ神社

入鹿大臣

いしかのだいじん人名

一體分身

いたいぶんしん

一刀三禮

いちたうさんらい

ひとたうさんらい礼拜して佛像をきさむがう

七言 八言 九言

廿三

一國平均

いづこへいさん

一所懸命

いづこよけんめい

一生不犯

いづこあやうふん

一蒙不住

いづこよちゆう

陰徳陽報

いんとくやうほう

辭應返事

いやをくのへん

陰虛火動

いんきよくわくどう

伊弉諾尊

いざなのこと

率川都

いそがわのつやこ

伊弉尊

いざみのこと

伊弉册尊

いざのみこと

輕兵

いさひのり

九言

一蓮託生

いづこせんたくせい

標本社

いづこひらのやう

一遍上人

いっぺんじやうじん

一標手半

いっぺんてはん

五重衣

いづこごころのまね

一切衆生

いづこいしゆじやうじゆう

一唱三歎

いっしょうさんたん

出雲路幸神

いづもぢのさいのう

池心都

いけこころのつやこ

十言 十一言

一犬吠形

いっけんけい

一疋の犬あやうのを見て吠るとは多くの犬その色をまきとて同く吠を云

一刻價千金

いっせきあきせんぎん

東坡の詩云春宵一刻價千金と云るの夜の景色のよれをいへ

櫛谷明神

いしひたのあやう

山城

呂部

一言

ろ

呂 侶 路 露 稜 魯 盧 樓 漏 爐 櫓 蘆

二言

蘆頭

ろづ 草の蓋の頭へ

論

ろん

籠

ろう

漏

ろう

弄

ろう

樓

ろう

陸

ろく

鷺鷥

ろぞ 鳥

路次

ろぢ

三言

函莽

ろむう

ろのりりともろ

露蜂

ろやう 虫

路頭

ろとう

露屋

ろをく

櫛甲

ろふ

露臺

ろたい

無論

ろわう

論

ろんず

綠蓉

ろうそ 葉

漏戸

ろうこ

螻蛄

ろうこ 虫

螻蟻

ろうぎ 虫

籠司

ろうし

哢

ろうす

陸地

ろくち 石鼠ともいふ

蘆火

ろくま

六位

ろくわ

六時

ろくど

路草

ろさう 晨朝 日中 日没 初夜 中夜 後夜

録事

ろくど

囉齋

ろさい

そ巧とかあどめとらひあり

路草

ろさう

羅皂

ろさう 僧徒の衣服へ

四言

路中

ろちゆう

爐中

ろちゆう

哢引

ろうえん

籠餅

ろうべい 饅頭の一名へ

陋巷

ろうきやう

樓閣

ろうかく

萋蒿

ろうこう 草

漏脱

ろうだつ

文章假字用格卷一

黄葉園藏

樓臺 ろうたい 漏達 ろうたつ 樓葱 ろうそう 哢言 ろうごん

漏刻 ろうこく 籠輿 ろうごよ 綠衫 ろうさきや 樓門 ろうもん

籠居 ろうきよ 漏盡 ろうじん 籠舍 ろうしゃ 樓門 ろうもん

弄舌 ろうぜつ 六方 ろくほう 六塵 ろくぢん 色色香味觸法をとり

蘆薈 ろくかい 六郷 ろくごう 六道 ろくどう 六條 ろくじょう 鑪匠 ろろう

六通 ろくつう 天眼 天耳 他心 宿命 神魂 漏盡 六條 ろくじょう 鑪匠 ろろう

鷲鷲藤 ろうとう 五言 露蜂房 ろろうぼう 論匠 ろんろう 弄璋 ろうぢやう

籠城 ろうじやう 弄丸 ろうぐわん 直居 ろくぢやう

六地藏 ろくじざう 延命 寶處 寶手 寶印 堅固意 鹿苑寺 ろくえんじ

鹿野苑 ろくやえん 天竺波羅奈國より佛 説法のことなり 六境 ろくきやう 鹿尾草 ろくびさう

鹿茸 ろくじやう 綠青 ろくじやう 鹿尾草 ろくびさう

六言 路頭立 ろくどうたつ 驢腸羹 ろろうじやう 籠種羊 ろろうじやう

絡頭繩 ろくどうかへ 六角堂 ろくかくだう 鹿角霜 ろくかくさう

鹿角膠 ろくかくけう 六道錢 ろくどうせん 鹿豆忠 ろくぢやうぢやう

綠南草 ろくなんそう 六老僧 ろくらうそう 日向 日頂 日持 日朗 日興

文章假字用格卷一 六

文章假字用格卷一 六

文章假字用格卷一 六

文章假字用格卷一 六

文章假字用格卷一 六

文章假字用格卷一 六

六位宿世 ろくおすくせ

六根草

ろくこんさう毛

六齋日

ろくさいじち

八日 十四日 十五日
廿三日 廿九日 晦日

鹿韭草

ろくきさうさう

澆水囊

ろくすわかう

七言

漏刻博士

ろうこくをくせ

六道辻

ろくだうのつとめ

六観音

ろくくおんおん

千手 十二面 正提

馬頭 如意輪

六軒屋川

ろくけんやがわ

六時勤

ろくどのつとめ

六衛司

ろくゑいのつらさ

左右の近衛兵衛 衛門をり

八言

六道街

ろくだうのちまご

六條坊門

ろくでうばうまん

六種震動

ろくしゆじんどう

震動 起踊 吼撃

十言

六根清浄

ろくこんじやうじやう

六根ハ 眼耳鼻 舌身意 なり

波部

一言

はハ 波破歟半判絆巴播幡幡薄八方 音 伐婆 濁音
孤齒羽葉場馬

二言

梅	配	肺	拜	賣	倍	廢	輩	佩	敗
むい	えい	えい	えい	むい	むい	えい	えい	えい	えい
小甲香	唄	杯	祖母	小甲香	唄	杯	祖母	小甲香	唄
えい	むい	えい	むい	えい	むい	えい	むい	えい	むい

うつちへ

母	罪	寶	坊	保	帽	忘	茅	望
むい	むち	えう	むう	えう	むう	むう	えう	むう
延	愧	芳	暴	褒	傍	包	邦	炮
えん	えい	えう	むう	えう	むう	えう	えう	えう
繩	羽津	報	房	袍	訪	庖	苞	法
えい	えづ	えう	むう	えう	むう	えう	えう	えい
恥	巴豆	方	亡	抱	防	謗	放	
ち	えづ	えう	むう	えう	むう	えう	えう	

文章假字用格卷一 (は)

吳音通用あれははへん
漢音通用あははへん

黄葉園藏

は 二言

廿七

二言 三言

廿八

這 人の えみ 跛 虫 えみ 蔓 草 えみ 生 草木 ええ

美 始てもえう ええ 榮 出立ともえ ええ 映 日 ええ 婆瘦 南風をいふ ええ

鮓 魚 ええ 土師 ええ 櫛 木 ええ 蚊行 蟻の木をも志とよむあて字も漢名あり ええ

破壊 ええ 蝕 ええ 灰 ええ 跛行 ひの行くなり ええ

彌 弓 えび弓 末 弓 えび弓 筈 矢 えび矢

三言

隼人 えいと 配流 えいる 斷 えいる 拜賀 えいが

羽床 讚岐郷名 えいこ 賣女 讚岐郷名 えいこ 林田 讚岐郷名 えいこ 梅雨 梅雨 えいう

驛 驛路の馬 えいま 配賦 えいふ 拜舞 腰をうめ舞て礼をいふあり えいぶ

拜辭 えいど 拜志 山城地名 えいど 廢壞 やぶれてこりもをいふ えいど 拜披 えいひ

貝母 薬 えいも 拜 山城地名 えいも 朱櫻 木 えいも 柝 木 えいも

鼠麴 草 えいも 脛巾 服 えいも 伯耆 國名 えいも 箒 器 えいも

荊翁 草 えいも 埴輪 土 えいも 殉死の人よみて葬る土偶人をいふ

剗 緒布の耳 えいも 撲 屋敷 えいも 鍼醫 針 えいも 埴生 土 えいも

端縫 糸 えいも 葉分 葉 えいも 破戒 戒 えいも 針魚 魚 えいも

羽交 糸 えいも 羽數 羽 えいも 膚 皮 えいも 波濤 波 えいも

畑枝 枝 えいも 初穂 穂 えいも 法度 度 えいも 外 外 えいも

撥無 無 えいも 法嗣 宗門の傳嗣あり えいも 葉月 八月 えいも 八月 八月 えいも

文章假字用格卷一 (宗門の傳嗣あり) 黄葉園藏

は 三言

廿九

迦

をづひ

弛

をづひ

塙

をか氏

刃

をから

鼻緒

をかを

花緒

をかを

花井

をか氏

解除

をらへ

災を除き福を
求るをいふ

袂

をらへ

波浪

をらう

拂

をらひ

蠻衣

むんい

萬事

むんト

芳意

をうい

寶祚

をうそ

報土

をうど

邦家

をうり

方家

をうり

烹葵

をうき

彭祖

をうそ

暴雨

むうう

亡父

むうふ

帽子

むうり

芳志

をうし

榜尔

をうじ

房事

をうト

坊主

むうび

褒似

をうト

褒美

をうび

袍裳

をうも

薄荷

をくう

羽音

をおと

羽織

をおり

白衣

をくい

薄荷

をくう

羽咋

をくひ

祝人

をふり

屠

をふる

這兒

をふこ

八分字

をふち

萌

をえる

箸尾

を志氏

彈

を志き

創

をちめ

始

をちめ

肇

をちめ

断

をちめ

間

をひる

這出

をひで

芭蕉

をせを

葉末

をすゑ

四言

賣買

をいぐ

榛原

をい遠江
郡名

廢亡

をいをう

廢忘

をいをう

賣人

をいよん

敗北

をいかく

敗兵

をいへい

賣得

をいそく

拜讀

をいどく

賣女

をいぢよ

拜顔

をいがん

媒介

をいらい

文章假字用格卷一

は

黄葉園藏

廢學 学問を怠る せいがく 拜郷 氏 はいがう 誹諧 せいがい 配當 はいとう

杯臺 さいたい 佩楯 武器 はいてん 脛楯 武器 せいごて 執鸞 鳥 しつらん 梅花 ばいけい

拜禮 さいらい 敗走 さいそう 拜覽 はいらん 拜見 はいけん 配分 はいぶん

敗軍 さいぐん 培養 ばいよう 拜謁 はいてつ 拜閱 はいえつ

陪膳 さいぜん 沛公 漢高祖 さいこう 拜謁 はいてつ 拜劑 はいざい

廢朝 はいてう 拜殿 はいでん 梅天 五月 ばいてん 陪臣 ばいじん

拜吟 ばいぎん 俳優 ばいゆう 拜受 ばいじゆ 陪臣 ばいじん

醅酒 ばいしゆ 配所 ばいじよ 廢所 はいじよ 齒醫者 ばいしや

配膳 ばいぜん 梅煎 ばいせん 掃墨 ばいずみ 貝母 ばいぼ

墨子 墨子 むくし 埴原 むくはら 半月 むくつき 蠅虎 むくこ

蛆 虫 むく 鳩吹 むくとく 獵師の秋の頃鳩の色のまじりて手を映ゆるなり むく 八音 はちおん

匏 金石 ぼう 愧入 むかしり 八陣 はちじん 龍 天地 りゆう 張綿 ちやうめん

蜂吹 むちうく 蜂をよせつけぬやうのりかむをり 針入 むしりいれ 旗竿 はたてぼう

堅齒 ををむく 墓原 むら 計 はかり 鱗板 うろこいた

馬鹽 むたらひ 促織 むしり 蟋蟀 むしり 旗竿 はたてぼう

郵偶 むしごを 未胤 むついん 八方 むつぱう 慚 むづかし

恥 むづかし 發向 むつこう 八講 洛華の八講 むつこう 羽束師 山城地名 むづかし

初苗 むつめ 初午 むつらま 八景 むつけい 八教 むつけう

文章假字用格卷一

黄葉園藏

藏通別圓
頓漸秘不定

初聲 とのこゑ

末葉 むのえふ

末弟 むつてい

發才 むつさい

發明 むつめい

初汐 むつしほ

發聲 むつせい

かね

拔萃 むつすお
ぬき出ーあつむん

羽川 むねがわ
氏

驛馬 むねうま

花色 むかいか

鼻息 むかひき

花生 むかひけ

韁 むかひ
馬具

純草 むかひ

花妻 むかつま

縻 むかづら
牛韁

牛縻 むかづら
牛馬を繋ぐ

鼻搐 むかぬぢ

鼻聲 むかこゑ

花澤 むかざわ
氏

鼻經 むかすぢ

匍匐 むらふひ

腸 むらむら
臟

腹帶 むらおび

萬邦 むんぱう
万国と云ふ同

萬方 むんぱう

坂東 むんどう

伊豆相模 武藏 上総
下総 安房 上野 下野

番頭 むんどう

飯銅 むんどう
器

晚冬 むんとう
十月

班女 むんぢよ
班の班徒野か

伴侶 むんどう

萬幸 むんこう

又向 むむう

萬代 むんたい

飯代 むんたい

飯料 むんどう

范蠡 むんらい
人名

伴僧 むんそう

晚來 むんらい

繁華 むんくわ

飯米 むんまい

晚景 むんけい

反景 むんけい
日

繁榮 むんえい

半疊 むんでふ

端武者 むむしや

斑瘡 むんそう
まごらのくさみ

坂西 むんさい
氏

榛澤 むんざわ
氏

匣 むんび
器

椽 むんざふ
器

半弓 むんこう

斑猫 むんめう
虫

晚秋 むんあき
九月

萬歲 むんぜい

蕃椒 むんせう

忘憂 むわうい
酒の異名

朋友 むわうい

方逸 むわいつ

砂鍋 むわろく
器

茫々 むらうく

胞傳張 むわうばう

傍輩 むわむい

芳飯 むわうばん
をほむせう

苞飯 むわうばん
苞ハモラフと云

魴鯮 むわうぢう
魚

方便 むわうべん

褒貶 むわうてん
わうぢり

文章假字用格卷一 (は) 四言

黄葉園藏

寶幢 ほうどう 芳慮 ほうりょ 茅屋 ぼうしや 芳翰 ほうわん

方角 ほうかく 方格 ほうかく 茅根 ぼうこん 半靴 はんか

放下師 ほうげし 報答 ほうたふ 放題 ほうだい 方立 ほうたて

傍題 ぼうだい 寶塔 ほうたふ 拈 ねん 亡靈 ぼうりやう

放埒 ほうらつ 芳恩 ほうおん 放火 ほうか 亡君 ぼうくん

飽滿 ほうまん 芳惠 ほうけい 寶劍 ほうけん 葬 そう

暴風 ぼうふう 防風 ぼうふう 亡魂 ぼうこん 寶殿 ぼうでん

芳札 ほうさつ 疱瘡 ぼうそう 茅柴 ぼうさい 寶藏 ぼうざう

放免 ほうめん 望日 ぼうにち 坊舎 ぼうしゃ 礪砂 りゅうさ

方圓 ほうえん 坊守 ぼうしゅ 忙然 ぼうぜん 芒硝 ぼうせう

方寸 ほうすん 炮 ほう 白晝 はくぢう 白翁 はくおう

博合 はくがふ 莫大 はくたい 麥浪 ばくらう 白翁 はくおう

馬口勞 ばくろう 博勞 はくらう 馬喰 ばくじゆ 白鷗 はくおう

博奕 はくやく 白米 はくまい 白紅 はくこう 鵠 はく

剝棗 はくそう 白日 はくじつ 白桃 はくとう 薄酒 はくしゆ

白人 はくじん 麥秋 ばくしゆ 早業 はくごう 早俗 はくじやく

捷徑 ていけい 早川 はくがわ 早繩 はくじゆ 蔓荊 まんけい

文章假字用格卷一

黄葉園藏

は 四言 五言

三十三

濱褱

たまつと

たまつと行くと名の
三母げなり

濱木綿

たまゆふ草

岨

いげやま

祝子

たまつりこ
祢宜のうら

羽二重

たまふと絹

光結

たまふた同

法例

たまふれい

祝園

たまその
山城の郷名

昆虫

たまむ

法式

たまふと氏

羽子板

たまふり

髮際

たまえぎ

帯添

たまき

萩原

半部地名

半部半分の部

たまふと

端近

たまち

走井

たまり

薑

間人

間人仲人とおや

たまふと

波旬

たまおん

奪取

たまひ

香匙

灰吹

灰吹

たまふと銀

唾壺

たまひ

奪合

たまひ

長谷川

たませが氏

芭蕉

たませ艸

芭蕉布

たませ布

苦刺

たます矢の苦をさ

五言

拜領

たまひ

誹諧師

たまひ

肺臟

たまひ

徘徊

たまひ

拜上

たまひ

媒妁

たまひ

不憚

たまひ

柝原

たまひ

彗星

たまひ

白拂

たまひ

馬鞭草

たまひ草

馬頭娘

たまひ發

鳩杖

たまひ

八丈

たまひ

八王子

たまひ地名

忍笑

たまひわがま

張皮籠

たまひ

馬螳草

たまひ

羽買山

たまひ大和地名

肌帶

たまひ

馬刀瘡

瘡癩の種類

たまひ

促織

たまひ虫

旅籠馬

たまひ

幟

たまひ

驪馬

たまひ

水腫

たまひ

馬櫛神

鹿の神

たまひ

文章假字用格卷一 ⑤

黄葉園蔵

れ た かり ち と へ ち

す せ ひ まきえこ ふけ

八平氏

まつへいど

上総千葉 大庭梶原 土肥三浦 秩父長尾

恥敷

まつりーき

辱

まつりーむ

廿日市

まつりーち

跋提河

まつたいが

初煙

まつくろひ

花返

まつけり

八省

禁中の官府の名

まつちやう

八宗

まつちゆう

花返

まつかへり

花鬘

花をうらまふ事
まつかづら

離岩

まつれいそ

離寫

まつしやま

花机

まつづゑ

花宴

まつかのえん

花細

花をわらへりては花語

異母

まつがはり

大角

戦の具なり
まつらのつえ

般若寺

南都あり
まつんごま

番代

まつんがはり

樊噲

人名
まつんごい

判形

まつんごやう

繁昌

まつんごやう

判物

まつんごもの

隱語

まつんごもの

磐石

まつんごやう

番匠

大工のこと
まつんごやう

斑枝花

木綿の一種
まつんごく

寶幢花

まつんごうけ

方丈六

まつちやう

庵丁

まつちやう

坊中

まつちやう

虫出

まつちゆう

方量

まつちやう

方外

まつちゆう

膀胱

まつくそ

判官

まつくそん

坊官

まつくそん

傍官

まつくそん

忘却

まつくそん

暴虐

まつくそん

飽食

まつちゆう

放生

まつちゆう

坊城

まつちゆう

白扁豆

まつへんづ

白狀

まつちゆう

白張

まつちゆう

官人下賤の者此服

まつちゆう

薄荷圓

まつちゆう

破軍星

まつちゆう

薄氷

まつひよう

林澤

まつちゆう

葉鷄頭

まつちゆう

文章假字用格卷一(は)

黄葉園蔵

五言

三十四

おね つ たわる り ちへい の す せ ひ ちみさてこふ

は 五言 六言

三十五

這子雛 ここのひか 箱渡 ここのり 馬蹄穀 むていこく鴨

挾板 ここのり 瘦 ここのり病 土師里 ここのり河内地名

柱本 ここのり攝津地名 彈弓 ここのり 這出 ここのり

這入口 ここのり 這行 ここのり 這纏 ここのり

杜仲 ここのり木 走回 ここのり 馳違 ここのり

馳歸 ここのり 馳向 ここのり 馳叅 ここのり

馳廻 ここのり 苦違 ここのり 配膳人 ここのり

六言

奪取勝 ここのり 俳諧歌 ここのり 雪恥 ここのり

梟 ここのり鳥 蠅虎 ここのり虫 八代集 ここのり

八王日 ここのり 八字眉 ここのり 八代集 ここのり

古今後撰拾遺後拾遺 古今後撰拾遺後拾遺 波利賽女 ここのり 菟 ここのり荷のうぐい草

張魂 ここのり俗云云同ト 衡 ここのり 送春 ここのり

為半配 ここのり等々 旅籠振 ここのり 機織虫 ここのり

叩頭虫 ここのり 果状 ここのり 端商 ここのり

徒足詣 ここのり 心願の時素足と寒暑を侵して 参詣する人 心願の時素足と寒暑を侵して 参詣する人 八鳥 ここのり

羽束山 ここのり河内地名 發明者 ここのり 初元結 ここのり

翁 ここのり 黄檗魚 ここのり魚 縹帽子 ここのり

黄葉園藏

文章假字用格卷一 ㊦

ひら

花窟

はなぶら

肥後の目人元日よ鱒魚
禁裏へ献ずる

妊婦

はらこ

腸赤贅

はらこ

半夏生

はんげま

反魂香

はんこんかう

半造作

はんぞうさく

般舟院

はんしゆいん

天台宗
京師北野あり

萬歳樂

ばんせいらく

忘憂草

わうゆうそう

炮烙火矢

はうらくびや

波稜草

はらへんそう

保命酒

ほうめいしゆ

寶樹花

ほうじゆわ

放生會

ほうじゆかい

放生津

ほうじゆつ

方目紗

ほうめいさ

白頭翁

はくとうわう

麥門冬

ばくもんとう

白雪糕

はくせうこう

早

はや

行試

ぎやうし

竊盜

せうとう

いそ ちむ るか

七言

配所月

はいしよのつき

佩菜節

はいさいのせつ

憚多

はたかりおろく

外祖母

はたかりおろく

外舅

はたかりおろく

外甥

はたかりおろく

般恃愚痴

はんじゆいぢ

八大地獄

はちだいちじく

鉢付板

はちつけのいた

蓮臺

はちだいのうた

迎春

はるむかひ

切齒

きりば

錘

つち

權衡

つち

文章假字用格卷一 (は)

黄葉園藏

(は)

六言

紀伊の國熊野の有馬村あり

三十六

羽束師杜 はぶくしのみり 地名

八功德水 はつとくどくすい 佛説

花夕榮 はなゆきえ

烟火線香 はなびせんこう

花摺衣 はなずりぎ

斷腸 はなぢり

腹帶地藏 はらびらごう

炮碌頭巾 はうろくづきん

庖丁人 はうちゅうじん

報春鳥 はうしゅんてう

這體 こゝろぐのてい

白馬節會 はくばのせらいふ 正月七日の公事あり

白丁香 はくちやうきう

白頂花 はくちやうふらぎ 草

博學多才 はくがくたさい

白山通 はくさんとつう 白山の街道をへり

深窓處女 ふかまどむすめ

挾將棊 はくしやうぎ

土師天神 どしのかみかみ

匍纏 はくまき はくまき

八言

摧肺肝 さいはいかん

外祖父 がいそふ

八大龍王 はつぱつりゆうおう

確忘却 かくわく

八算見一 はつざんけんいち

八荒同軌 はつわうどうき

半死半生 はんしはんせい

鎮花祭 ちんげさい 神事

踏薄氷 ふみうすい

傍若無人 はうじやくぶじん

くう ひか

つた らん い

ひ ま と こ

く う ら か つ

文章假字用格卷一 (は)

黄葉園藏

八言

八幡大菩薩
八相成道

拔錚明神
比翼鳥

万乘主
寶祚万歳

十一言

斷腸解頤

ら り むね つら

仁部

一言

仁 爾你迺二仁而耳珥貳尼柔音荷煮丹訓

二言

庭 場 丹羽 鳩

苞苴 贅 日和

乳 柔 壬生 日安藝遠江安房

丹生 入 煮 蝾螈

ひ ぬ ふらわ へか へ

文章假字用格卷一

三十九 黄葉園藏

薄雨の日は照されて影とわかれ

絳霓

新

大和郡名

漢音

え

蛸

つむぎと苞とつゝ

まくと苴とつゝ

海上

卿名

二言

遽然 よひり 俄 よひり 頓 よひり 卒爾 よひり

庭田 よりの 甘遂 よひそ 燎 よひび 馨 よひふ

庭瀨 よひ 薰 よひふ 馥 よひふ 馨 よひふ

香 よひ 勻 よひ 如意 よよい 二玉 よこり

二階 よりの 膠 よりは 如 よひ 女 よこり

新田 よた 二嶋 よたう 仁木 よき 無二 よふ

柔和 よわ 乳蛾 よが 乳味 よみ 煮梅 よめ

荷負 よお 煮 よや 入津 よつ 入部 よぶ

入府 よふ 入寺 よと 尼公 よこう 熱 よる

熱湯 よえ 二帝 よてい 二條 よじょう 似合 よあ

二歳 よさい 座 よき 蹋 よみ 躡 よみ

西尾 よび 鈍滌 よむ 新葉 よひ 新田 よた

新見 よみ 似繪 よせゑ 今似繪 よせゑ 新田 よた

四言

文章假字用格卷一 ⑫

黄葉園藏

三言四言

四

雞 みどり鳥

陸英 みどり木

庭立 みどり

地膽 みどり虫

郁李 みどり木

庭乘 みどりのり

馬場 馬場の庭

庭草 みどり

地膚 みどり草

鳥照 みどり

鷓鴣 みどり鳥

膽水 みどり

女人 みどり

如法 みどり

女帝 みどり

女王 みどり

女御 みどり

入唐 みどり

日蝕 みどり

日牌 みどり

不似付 みどり

入西 みどり

入宋 みどり

蜷川 みどり

茵芋 みどり木

日課 みどり

入皇 みどり

人皇 みどり

忍冬 みどり草

仁和寺 みどり

人愛 みどり

人相 みどり

人界 みどり

妊帯 みどり

人愛 みどり

人相 みどり

柔輦 みどり

二舞 みどり

乳香 みどり

乳癰 みどり

肉豆蔻 みどり薬

釋迦牟尼佛 みどり

入峯 みどり

入湯 みどり

入道 みどり

新川 みどり

入學 みどり

入料 みどり

入銀 みどり

入滅 みどり

入麵 みどり

入善 みどり

濁井 みどり

濁江 みどり

賑 みどり

二行 みどり

西陣 みどり

西郊 みどり

西岡 みどり

西川 みどり

新糸 みどり

鈍色 みどり

新綿 みどり

新治 みどり

新墾 みどり

新綿 みどり

新嘗 みどり

文章假字用格卷一

黄葉園藏

毎年初詣と神を奉らせ
ゆふり

五言

暴風 よつらうぜ

驟雨 よつらあめ

庭作 よいつくり

篇蓄 よいやみ草

鳩海 近江 湖 あわのうみ

苦笑 よがごらい

女院 国母 よううわん

似 よつらい

人長 えんぢやう

人頭幢 えんづどう

任槐 えんかゐ

人情 えんぢやう

若僧 よやくそう

混渚 よごりぞ

新叅 よいまわり

蘭み如 よいまごと草

文章假字用格卷一 ⑫

⑫ 四言 五言

曠 よつらうぜ

潦 よいづつ

雞 よつらどり鳥

朱櫻 よいざくら木

二階堂 ようかいだう氏

女別當 春宮の官女 めいべつどう

女性 およめぢやう

擔桶 よめいどけ

神樂の舞人陪従おびの長 せまみまぐさ身と

大臣の任せらるる 入定 いぢやう

若童 よやくどう

似合敷 よあひき

せまみまぐさ 新枕 よいまくら

煮鹽鮎 うしやあめ

濁水 よごりみづ

入城 いぢやう

人形 じんぎやう

任官 じんくわん

仁王會 じんおうかい

輓擔 よめいぢやう

庭面 たいめん

含桃 こんたう木

疾雨 よつらあめ

庭にたふる雨 庭面 たいめん

庭面 たいめん

含桃 こんたう木

冷笑 れんごう

女房 めいぼう

日中 じちゆう

六言

二六躍 鹿島おどろのり よろくそ

鶴鴿 鳥 おらふぞう

庭訓 よのそ

鳩浮巢 鳩のうき よりのき

鳩のうき鳥の巢の波の上よ作おけい

香囊 よひぶら

日夜朝暮 よらやてふ

日行事 よらぎや

女春宮 よらうご

女官 よらうご

女御代 よらうご

女御のまじりよらうご

女藏人 よらうご

官女の下臈の藏人

忍冬酒 よらうご

人間界 よらうご

肉苳蓉 薬草 よらうご

西主 よらうご

新玉章 よらうご

新磯濱 よらうご

伊豆賀茂郡瀧の温泉の地あり

七言

二六時中 よらうご

二河白道 よらうご

如意寶珠 最上の珠 よらうご

女護嶋 女嶋 よらうご

新田社 よらうご

武藏桶樹郡 矢口

日光山 下野河内郡 よらうご

人別帳 よらうご

人中黄 大便 よらうご

人中白 小便 よらうご

忍凌草 よらうご

柔和忍辱 よらうご

西河瀧 大和吉野郡 よらうご

二所宗廟 伊勢 石清水

二上嶽 大和葛下郡 よらうご

二十八日 よらうご

文章假字用格卷一

黄葉園藏

あう む っ よかろ ひまく む よら ね ころ

近世朔望準て是日
礼と設く

錦小路

京都の地名

ふきのこら

八言

仁徳天皇

人皇第十七代

じんとくてんこう

丹生明神

大和吉野郡あり

にぶのあきみ

二十八宿

星宿

にじゅうはちしゆく

九言

二佛中間

諺あり

ふぶつちゅうかん

二十一代集

ふぶつちゅうかん

世に勅撰の歌書あり八代集よ
十三代集と合せり

十言 十四言

如意輪観音

にょいりんくわんおん

菩薩

人間萬事塞翁馬

にんげんばんどうぶ

古き詩の句とて人れ一生涯と塞翁が故事よ
れとていん

保部

一言

保

保褒本寶富朋費報譜哀菩音凡煩乏獨音穂帆

二言

本意

わい

布衣

わい官服

頰

わい支脈

頤

わい同

螺

わら貝

棒

わら器

鵬

わら鳥

蓬

わら草

鳳

わう鳥

封

わう

峯

わう

逢

わう

奉

わう

捧

わう

崩

わう

豐

わう

哀

わう

朋

わう

邦

わう

謀

わう

反故

わん

法

わん漢音

吠

わん狗声

晡時

わん申時

三言

焙爐

わいろ

穂北

わい備中郷名

鰯

わづら和名抄魚鰯註せり

行器

わうりく腹の美あへ

堀尾

わり氏

行器

わう器

步行

わう

行器

わう

菩提

わん

母堂

わん

暮齡

わん

牡蠣

わん貝

細井

わを氏

穂束

わづ氏

末枝

わづえ

穂積

わづ氏

本意

わん

本地

わん

品治

わん氏

本寺

わん

梵字

わん

布衣

わん

倍

わん

奉加

わん

文章假字用格卷一 (ほ)

黄葉園藏

保 二言

四十四

繻	星井	嗥	法語	焰	法師	彭祖
わい	わい	わえ	わい	わの	わい	わい
餵	欲	布袋	法會	保養	鷓母	反故
わい	わき	わてい	わい	わち	わい	わい
穗末	貪	補劑	母公	暮陽	封	蜂起
わす	わき	わざい	わい	わやう	わい	わき
	脯	暮秋	吼	屠	煌	法事
	わい	わい	わえ	わい	わの	わい

ほ 三言

四十五

陪堂	頰骨	畫眉鳥	髯	煩熱	朗	神馬藻	細路地	臍緒
わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい
無本意	酸漿	忍笑	綉	程經	菩提樹	穗俵	小腸	蒂落
わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい
穗出	頰當	微笑	浸	百部	菩提寺	楯杭	細川	節
わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい
窳	厚朴	鬚	液	殆	燿燿	絡	胞	細水
わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい	わい

文章假字用格卷一

黄葉園藏

四言

四十六

發頭 あつこう

法華寺 あつわじ

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

本陣 あつちん

文章假字用格卷一 (四)

黄葉園藏

夢澤 あつたけ

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

奉納 あつめい

法體 あつたい

螺 あつらひ

梵唄 あつべい

犯戒 あつがい

本堂 あつだう

煩惱 あつぼう

本朝 あつてう

梵宮 あつきう

俸祿 あつりく

鳳凰 あつほう

豐年 あつねん

奉公 あつこう

奉書 あつしよ

鳳詔 あつせう

穆王 あつむわう

卜筮 あつせい

法輪 あつりん

法橋 あつけう

梭尾螺 あつらひ

本邦 あつこく

本郷 あつごう

奔走 あつそう

本來 あつらい

本才 あつさい

本誓 あつせい

胞轉張 あつてう

奉納 あつめい

封建 あつけん

縫掖 あつえき

謀書 あつしよ

擊鬆 あつしゆ

木刀 あつたう

法印 あついん

法皇 あつこう

文章假字用格卷一 (四)

黄葉園藏

法界 りふゑ 法用 りよう 法談 りだん 法然 りぜん

法樂 りらく 法恩 りおん 法眼 りげん 法服 りふく

法文 りぶん 乾飯 りいひ 乾魚 りいぎ 臚 りい

星川 りくわ 暮商 りあう 星合 りあひ 臚 りい

五言

臉蒙 りうもう 頰冠 りうかん 厚朴 りうぼく

送 りう 程遠 りえん 佛洞 りふどう

剔杖 りくじやう 琢 りやく 菩提樹 りびつじゆ

菩提草 りびつそう 車渠 りしやう 細男 りさいなん

山城離宮八幡木隅人の りやまの

發病 りはつびやう 骨痛 りほつう 本領 りほんりやう

本能寺 りほんのうじ 本願 りほんがん 本懷 りほんわい

本國寺 りほんのくにうじ 凡情 りほんじやう 本性 りほんじやう

本城 りほんじやう 本莊 りほんじやう 奉勅 りほうしやく

鳳味 りほうみ 謀畧 りぼうりやく 膀胱 りぼうたう

封疆 りふうきやう 豐凶 りふうきやう 鳳城 りほうじやう

北俱盧洲 りくろしう 北極 りくきやく 穗屋香爐 りすゐかうろ

文章假字用格卷一

黄葉園藏

ふけ

法華經 わげきやう

法隆寺 わらうじ

大和

法樂會 わらうかい

大和

法氣付 わげけづ

法名 わげな

大和

法林寺 わらうじ

大和

縦 たて

擅 た

大和

恣 た

大和

星月夜 せげつよ

六言

堀兼井 ほりかねい

細谷川 ほそやがわ

古哥よよめ備中の地名と只
わらうと谷川とは別あり

骨折損 こせうそん

細冠者 ほそかむらじ

法華宗 わげきやうしゆ

京師あり
東西二派あり

保童圓 たもども

柔魚 なまこ

木願寺 きげんじ

京師あり
東西二派あり

薬

本勝寺 ほんしょうじ

培摧 たひさい

京師あり
東西二派あり

薬

鳳凰草 ほうおうそう

蓬萊山 ほうらいさん

蛞蝓 つづ

虫

鳳仙花 ほうせんか

北陸道 ほくりくどう

北叟笑 ほくそうしょう

虫

芋屑頭巾 あづきせうづきん

北叟頭巾 ほくそうづきん

星唱 せうてう

同

星位 せうい

干大根 かんたいこん

乾蘿蔔 かんらふく

同

元日天子星の名とよめさせ
たよとつへ

菜

同

同

七言

佛別 ぶつべつ

發露啼泣 はつろていせき

二月十五日

同

法華三昧 わげきさんまい

煩惱菩提 ぼんぷつだい

同

同

浮出 うきだ

豐年雪 とねゆき

豊年の瑞

同

文章假字用格卷一

黄葉園藏

蓬萊飾

わうらいごり

法界恪氣

わふらいごんき

戴星

わいせいごく

落星馬

わいせいごのうま

星合空

わいあひのそら

八言

本飯再進

わんぼんさいじん
本膳再進

本領安堵

わんぼんあんど

鬼灯挑燈

わづきでうらん

骨組丈夫

わねぐもぢやうぶ

本明寺叅

わんめうとまのり
二月初五日

北辰尊星

わんぼんそんせい

九言

北面侍

わめんのおむひ

法勝寺大會

わふしやうだいのえ

梵天帝釋

ぼんてんたいせき

十言

十一言

穗掠明神

わのぐろのこやうどん

大和

玄蕃寮

わうらまらびくのつらさ

官名

邊部

一言

へ

反返閉敵幣敵篇遍霸陸珮背沛杯鬣鞞便辨

別倍陪

便以下五字濁音

舳舟經歷訓

二言

幣

へい

幣帛あつとてぞう

屏

へい

今の垣根のとあり塀とくハ倍字なり

閉

へい

平

へい

米

べい

捉緒

へい

俵

へう

廟

べう

鏢

べう

表

天子奉る表と云

砲頭釘

べう

標

べう

鏢

べう

豹

漢音と云

漂

へう

飄

へう

瓢

へう

苗

吳音めう

日置

へい

平

へい

平

へい

平

へい

三言

平地

へい

平話

へい

陛下

へい

平禮

へい

折烏帽子は類して平侍の着るりのゆゑ名づく

閉戸

へい

平沙

へい

兵器

へい

平愈

へい

平氏

へい

瓶子

へい

別當

べい

竈

へい

折

へい

別井

べい

別府

べい

戸次

べい

別事

べい

邊夷

へい

藟豆

へい

逸見

へん

篇次

へん

表裏

へん

瘰疽

へん

文章假字用格卷一

卷一

黄葉園藏

表具 へいぐ 表示 へいじ 裱紙 へいし 標紙 へいし

豹尾 へうび 曆の八将神のツ 平群 へいぐん 僻事 へきじ

四言

閉籠 へいろう 幣帛 へいぶ 平人 へいじん 平陸 へいりく

吠瑠璃 べいろうり 梵語あり青色宝と翻せり即瑠璃あり 弊屋 へいぶつ 兵革 へいこく

革、甲冑あり軍旅に 餅餠 べいたん 古代の菓子の名あり 聘禮 へいらい

平僧 へいそう 平臥 へいご 屏風 へいぶ 屏幔 へいまん 俗より斗帳幕のたひい

米穀 べいこく 炳焉 へいげん 平安 へいあん 平均 へいじん

屏居 へいこ 隱居と云同ト 平日 へいじつ 兵刃 へいじん

閉門 へいもん 平生 へいせい 炳然 へいぜん 嬖妾 へいせふ

嬖妾 へいせふ へつらひあつとむ 臍帶 へいそ 鼈甲 べいこ

諂 へつらひ 譏 へつらひ 別院 べつゐん

別火 べつゐ 別業 べつごふ 退休の宅地今より下屋敷の類あり 別條 べつじょう

別才 べつさい 返報 へんぱう 偏旁 へんぱう 文字

反閉 へんび 冕旒 へんりゅう 變改 へんがひ

返答 へんたう 篇題 へんたい 辨當 べんたう 行厨 げんじう

文章假字用格卷一 天子出御の時陰陽寮は行ふところあり 黄葉園藏

返禮 へんれい

辨佞 べんねい

返納 へんあふ

變化 へんそ

卞和 へんご

辨慶 べんけい

辨口 べんこう

偏軌 へんき

變易 へんえき

返牒 へんてい

返濟 へんさい

辨濟 べんさい

邊要 へんえう

陸奥出羽佐渡隱岐
壹岐對馬邊要

遍照 へんせう

邊陲 へんすい

廟拜 べうはい

表白 べうはく

漂泊 べうはく

渺茫 べうぼう

漂流 べうりゅう

渺々 べうく

漂倒 べうたう

表德 べうとく

瓢簞 べうたん

廟堂 べうだう

漂倒 べうたう

苗裔 べうえい

廟所 べうじよ

俵物 べうぶつ

舳松 しゆそう

和泉大鳥郡熱瓜の産下

碧友 へきゆう

碧桃 へきとう

辟易 へきえき

閉帳 へいぢやう

平胃散 へいゐさん

平懷 へいゐ

鬼蟹 へいけがま

平家蟹 へいけがま

墻界 へいざうかい

平脈 へいみやく

陪從 へいざうじゆう

庸醫 へいゐい

別行 べつぎやう

邊境 へんきやう

返狀 へんじやう

返上 へんじやう

返償 へんじやう

漂著 べうぢやく

豹皮 べうのかわ

豹脚 べうのあし

蛇莓 へびつらこ

文章假字用格卷一

五言

黄葉園藏

ひ

う

むつた

い

き

の

う

の

弄蛇乞兒へびつうい

六言

兵者詭道へいぎだう

兵家樞要の語孫子、出づ

米囊花べいぶらうか

臍土器へそがらひ

無別條べつぞうじょう

便毒瘡べんどくさう

表徳号へうとくごう

七言

屏中門へいぢゆうもん

閣門かくもん

平安城へいわんぢやう

山城の国愛宕郡今の京都之

別時念佛べつどけんにぶ

八言

平家物語へいけりのものがたり

十二卷あり信濃前司行長が作り

辨才天女べんざいてん

變成男子へんぢやうおんど

龍女正覚の美法華經に見えり

碧原督郵へきげんとくゆう

十二言

片言折獄へんげんせつご

凡訟せらるゝの必兩辭をもちて是非をさぐるを片言とて信じて獄をさぐるのい吏の短才あり

登部

一言

と

登刀斗等苔觀鄧騰滕藤得德渡妬屠 清音 土

杜圖度

清濁 二音

杼奴弩怒特迺耐

濁音

二言

うらを りとや

遠

とや

百

と

閉

と

綴

と

干

と

銅

と

東

と

等

と

筒

と

棟

と

凍

と

同

と

洞

と

桐

と

銅

と

動

と

冬

と

統

と

豆

と

逗

と

童

と

董

と

通

と

痛

と

桶

と

頭

と

斗

と

登

と

燈

と

藤

と

騰

と

懂

と

蓼

と

土居

と

土堰

と

戸母

と

土肥

と

問

と

カ自

と

樋

と

三言

砥

と

途方

と

外方

と

通

と

文章假字用格卷一

黄葉園藏

二言 三言

五十五

亨

通あり

とろる

融

とろる

遠矢

とろや

遠

とろ

神門

とろお

鳥居

とろお氏

撓

とろ

竹木むらさきのまゐい

とろ

節

とろ

左右

とろ

渡海

とろ

都甲

とろ氏

土用

とろ

渡唐

とろ

徒黨

とろ

唱

とろ

捕

とろ

東夷

とろ

燈籠

とろ

豆雨

とろ八月

同意

とろ

童戲

とろ

同家

とろ

動座

とろ公卿出陣

豆腐

とろ食

磐水

とろ

桐油

とろ

童子

とろ

東寺

とろ山城あり

東司

とろ

鳥鳴鐘

とろ

宿直

とろ

得意

とろ腹意の支云

時計

とろ

僧家とて廁とて

とろ

詛

とろ

土公

とろ

杜公

とろ蝶

徒弟

とろ

土藏

とろ

土葬

とろ

常盤

とろ

問屋

とろ

飛魚

とろ

燈

とろ

鞆繪

とろ

巴

とろ

渡世

とろ

四言

遠射

とろ

遠妻

とろ遠方より妻云

遠嶋

とろ

遠山

とろ氏

遙點

とろ

齊

とろ

整

とろ

調

とろ

戸帳

とろ

斗帳

とろ

途中

とろ

取出

とろ

取置

とろ

取分

とろ

取替

とろ

鳥飼

とろ氏

文章假字用格卷一

黄葉園藏

三言 四言

五十六

取添 とりそ

副持 とりそ

執成 とりし

取合 とりあひ

黏竿 とろこ

十返 とろり

松より百年こころ
花さくしつひつこころ

梅尾 とろのて

土燈會 とたう会

力祿川 とねが

捕 とらる

虎卷尾 とらのも

頓宮 とんぐ

鈍才 とんさい

東京 とんげん

鈍色 とんじき

屯食 とんじき

下膳よあつる飯の
名わり

同邑 とつのふ

燈籠 とろう

東方 ととう

等輩 ととう

童坊 ととう

燈棚 ととう

頭人 ととう

同朋 ととう

頭取 ととう

燈籠 ととう

遠雷 とつり

同類 とつる

東海 とつる

同郷 とつらう

燈械 とつがい

鼈 とつがめ

同道 とつたう

燈臺 とつたい

藤堂 とうだう

東堂 とうだう

同年 とねん

童男 とんなん

銅卯 とうらん

東院 とうゐん

同音 とんおん

冬瓜 とうぼ

春宮 とらう

東宮 とらう

東風 とらう

動搖 とらう

東條 とらう

鬪鶏 とらう

東西 とらう

幢相 とらう

同罪 とらう

同苗 とらう

等身 とらう

燈心 とらう

童蒙 とらう

洞庭 とらう

同姓 とらう

東漸 とらう

漸進 とらう

洞蕭 とらう

斗為巾 とらう

華共十弦より十三弦の
名あり

毒忌 とらう

德行 とらう

徳川 とらう

獨行 とらう

文章假字用格卷一

黄葉園藏

四言

五十七

毒害

どくご

得道

どくご

毒絶

どくた

東菜

朝鮮地名

得能

とくの

徳政

とくの

訪

とくの

弔

今云悔に行くと

長

とく

常盤井

とくの

常葉木

とくの

齋料

とくの

土牛兒

とくの

讀經

とくの

齋米

とくの

非時

時をぬくと云

年緒

とくの

俗命の個と云

長く絶ぬ心あり

登城

とくの

闕

門のあき

酔麻鹿

とくの

鯨魚

とくの

鷺尾

とくの

問丸

とくの

纜

とくの

舟とつるが

とくの

伴

とくの

燈火

とくの

五言

無十方

とくの

通熊

遠江地名

遠祖

先祖と同一

高祖父母

とくの

遠値嘉

地名

十重廿重

とくの

滯

とくの

閉籠

とくの

取拂

とくの

取渡

とくの

取違

とくの

取遣

とくの

取續

とくの

取直

とくの

取廻

とくの

無屑

とくの

不取敢

とくの

是六手取意とて急が折るハ物と云らわねせぬあり

鬪鶏

三月三日

執障

とくの

鳥曹司

林宗中異の禰

十圍子

とくの

駿河の内屋峠の名物

とくの

土用乾

とくの

囚人

とくの

虎皮

とくの

緞帳

とくの

文章假字用格卷一

黄葉園藏

貪著 くんぢち

鈍頑 どんくわん

頓病 どんびやう

桃印符 とういんふ
五月五日

統領 とうりやう

棟梁 とうりやう

蕃椒 とうがら

銅駝坊 どうたばう
京二条通

豆花雨 とうかう
八月の雨

胴膨 どうぶう

同行 どうぎやう

同郷 どうきやう

同名 どうみ
名の同じきこと云

灯明 とうみやう

同性 どうぎやう

司宿 どうしゆく

鬪諍 どうしやう

童子教 どうしけう

安然和尚の鞠賣の童
わしへゆふ文あり

獨活 どくわく
薬

徳大寺 とくだいじ
氏

長 ちやう

解蔓 かいまん
草

伽婢子 かひし
人形

遇時 ぐうじ

菟裘之地 ときうのち

老て死すべし地と云う

鯨波 くじなみ

同士軍 どうしぐん

歳男 さいなん

年のくまゆい用ふ
所のみ

詔 みことことば

銅鈸子 どうはち
樂器

左之右之 さみぎみ

六言

劣駑馬 りやくぐま

途方暮 とちやうぼ

不問談 ふもんだん

遠江 とんげい
国名

遠山摺 とんげい
絹のこすり

遠侍 とんげい

遠里小野 とんげい

摂津住吉郡の地名 土人よりよめと唱ふ 同字の地名
山城の国愛宕郡より

斗柄東指 とうへい
春の事

取繕 とりのと

取失 とりのあひ

執行 とらおこめ

取扱 とらあつか

十眠 ととのあひ
廻文の哥

文章假字用格卷一

黄葉園藏

五言六言

五十九

十禪師

とよのひび

豊岡姫

とよのひめ

豊芦原

とよあはら

筋斗

とんがら

東方朔

とんげん

透頂香

とんげん

遁世人

とんせいび

東方朔

とんげん

道成寺

どうじょう

東海道

とうかいどう

東叡山

とういざん

四刻

しごころ

陶淵明

とうえんめい

土茯苓

どぶろく

四刻

しごころ

賑給

とんげん

五月は行く政を貧者

鳥尾琴

とりのでこ

富緒川

とものせがわ

和州平群郡の名所

斗指南方

とみづか

年終

としのせり

度嶂散

とさちゅう

七言

融大臣

とろのおとみ

取紛

とりまがら

姘女夫

とれあひめ

抖藪行人

とさうわんご

屠蘇白散

とそびやくさん

虎子涉

とらのこし

春宮大夫

とうぐうだう

東坡先生

とうばせんせい

都曇荅臘

とんたたら

斗指東南

としとうめん

登商令

とんしやうれい

十編菅薦

とんのすがらも

祈年祭

とんねんさい

土百姓

とんひやくしやう

土俵鞠

とんひやく

伴造

とものともつこ

文章假字用格卷一

黄葉園藏

八十伴緒の職掌の部類

豊年と祭るの公事

兵言

奥州宮城郡の産物

官名

壁言

楽言

楽言

夏

八言

失途方

とつうとうまひ

遠神善視賜

とやうとあまみ

龜卜の占詞より又三種の
大後

頓證菩提

とんじやうびだい

等活地獄

とらうくわらじやく

同氣相求

どうきあひもとむ

九言

戸隱明神

とがくしやうじん

燈臺跋暗

とらうだいびやく

頭中將

とらうのちゆうしやう官

磨而不磷

とらうびんぼらう

論語の語めり堅と
このたへん

自
十言 至
十六言

豊明節會

とよのあうりのせらゑ

公事

主殿伴造

とのめりれいものまづと

主殿寮の
被官

虎嘯風生

とらうとらうとらうとらう

燈滅益光

とらうびんぼん

經説のたへん

文章假字用格卷一 自十言至十六言

六十一 黄葉園藏

持戒	らうい	寵	らよう	敘位	らよか <small>位のりよか云</small>	地體	らごい	地内	らごい	伯牙鍾子期の故事心 ありた友達の事あり	值偶	らごう	挺	らちう	疔	らちう <small>腫物あり</small>	
違	らごふ <small>らごふ</small>	濃	らよう	勅	らちう <small>天子のしるし</small>	遲滞	らたい	地晶	ららん <small>地晶あり</small>	茅輪	らごこ	長	らちう	帳	らちう	張	らちう
誓	ららふ <small>ららふ</small>	微	らよう	濁	らごう	馳走	らそちう	晝夜	らちや	六月後の具より六月毎日 家にて輪とこゆるこり	町	らちう	定	らちう	丈	らちう	
重	らよう	澄	らちう	除夜	らごちや <small>大にそちや</small>	持僧	らごちう	知音	らいん	乳母	らちも <small>乳母あり</small>	丁	らちう <small>駕鋤鉄</small>	錠	らちう	杖	らちう
娘	らちう	嬢	らちう	貞	らちう	智計	らけい	持齋	らごい	仲	らちう <small>上三同ト</small>	注	らちう	頭	らちう <small>漢ハトウ吳ハツ</small>	經絡	らちら <small>血筋あり</small>
地獄	らごく <small>佛説</small>	智勇	らちう	虫	らちう	任	らちう	除目	らちう	場	らちう	釀	らちう	聽	らちう	地獄	らごく

二言 三言

六十二

文章假字用格卷一

黄葉園藏

四言

分ちうぶん

治定ちぢぢぢ

蜘蛛くもつち

散交ちちちち

塵塚ちちちち

塵土ちちちち

塵泥ちちちち

艷書ちちちち

辺ちちちち

眠ちちちち

重五ちちちち

濁世ちちちち

珍寶ちちちち

珍貨ちちちち

鎮東ちちちち

沈香ちちちち

塵芥ちちちち

陣貝ちちちち

陣座ちちちち

鎮西ちちちち

陣法ちちちち

陣營ちちちち

鎮守ちちちち

逐一ちちちち

沈醉ちちちち

紂王ちちちち

晝食ちちちち

竹茹ちちちち

畜類ちちちち

竹葉ちちちち

竹實ちちちち

竹茹ちちちち

竹園ちちちち

茶入ちちちち

茶桶ちちちち

茶碗ちちちち

長夜ちちちち

長座ちちちち

長途ちちちち

丈夫ちちちち

停止ちちちち

寸子ちちちち

定木ちちちち

張里ちちちち

長吏ちちちち

著衣ちちちち

茶亭ちちちち

茶苑ちちちち

茶瓶ちちちち

地骨皮ちちちち

兒生ちちちち

直綴ちちちち

直奏ちちちち

持經ちちちち

源氏ちちちち

知行ちちちち

地形ちちちち

重祚ちちちち

重位ちちちち

仲尼ちちちち

柱礎ちちちち

任持ちちちち

中有ちちちち

少ちちちち

恥辱ちちちち

智惠輪ちちちち

少ちちちち

文章假字用格卷一

黄葉園藏

ひんふ きこ や

くろ むよかわ りり

持病 らびやう

五言

千五百秋 らのやあさ

道速振 らもやぶる

古言ハサマドと意之後世ハ
神とツ枕詞との用ふ

合血 らてあひん

違棚 らがひたみ

地黄煎 らううせん

斬 らううりこ

重疊 らううてい

女中 らよらあう

重任 らよらあん

寵愛 らようあい

重寶 らううほう

重陽 らようやう

勅答 らううたふ

濃州 らようしゅう

重訂 らようてい

女色 らよあし

陣羽織 らんむぎ

楮夫子 らよふし

塵境 らんじやう

中宮 らちゆうぐう

珍重 らんらう

值遇縁 らんごん

筑摩川 らくまがは

知恩院 らおんいん

長久 らちゆうきう

長壽 らちゆうじう

畜生 らくしやう

長生 らちゆうせい

長日 らちゆうじつ

長命 らちゆうめい

長者 らちゆうぢやう

長老 らちゆうらう

長髮 らちゆうはつ

長星 らちゆうせい

帳内 らちゆうない

長南 らちゆうなん

頂戴 らちゆうたい

聽衆 らちゆうしゆう

長北 らちゆうほく

廳廷 らちゆうてい

丈人 らちゆうぢやう

聽聞 らちゆうぶん

丈人 らちゆうぢやう

廳宣 らちゆうせん

丈人 らちゆうぢやう

文章假字用格卷一

黄葉園藏

よかわをそい

や くわゆ

貞能 矢のこ らちゅうのう 張前 弓場云所 らちゅうまへ 張本 らちゅうほん

定業 らちゅうごふ 丈六 膝くむと云 らちゅうろく 町代 らちゅうだい

脹満 病 らちゅうまん 脹腫 同 らちゅうも 著服 らちゅうふく

著到 らちゅうたう 嫡流 らちゅうりゅう 著陣 らちゅうじん

持佛堂 らちゅうぶつだう 千枝村 江州地名 らちゅうせむら 藤繫 木の合せありと云ふ らちゅうふじ

重代 らちゅうたい 重服 らちゅうふく 重過 らちゅうか

重恩 らちゅうおん 重言 らちゅうげん 重罪 らちゅうざい

忠孝 らちゅうかう 忠貞 らちゅうてい 忠恕 らちゅうじよ

中道 らちゅうだう 中興 らちゅうかう 中庭 庭中と云同 らちゅうてい

中央 らちゅうちゆう 中庸 書名 らちゅうちゆう 中堂 らちゅうだう

仲陽 二月 らちゅうちゆう 仲秋 八月 らちゅうちゆう 仲冬 らちゅうちゆう

中臈 中品の人と云 らちゅうちゆう 中間 つごもあそと云 らちゅうちゆう 中條 氏 らちゅうちゆう

中啓 扇子の名あり らちゅうちゆう 中風 病 らちゅうちゆう 中陰 人死して七日の間と云 らちゅうちゆう

中華 らちゅうちゆう 任僧 唐土の人自ら其邦を称すあり らちゅうちゆう 註解 書の註あり らちゅうちゆう

任屋 住居のこと らちゅうちゆう 誅罪 らちゅうちゆう

智仁勇 らちゅうちゆう

六言

角力 らちゅうりき 千代能山 ちよのう 勅諭 しよくちゆう

文章假字用格卷一

黄葉園藏

やく

ひ

ひ

竹醉日 ちくすいひ

長春 ちやうしゆん

長曾我部 ちやうそがべ

長病 ちやうびやう

持經者 ちきやうしや

中沆 ちゆうかう

中腕 ちゆうわん

短刀 たんたう

五月十三日 七月八日 八月八日 此日竹酔

長講會 ちやうかうかい

張良 ちやうりやう

頂上 ちやうじやう

忠賞 ちゆうしやう

中將 ちゆうしやう

重病 ちゆうじやう

千引石 せんひし

打擲 ちやくちやく

可子涂 かこぬ

茶臼山 ちやうすやま

治部大輔 ちぶおほほろ

中旬 ちゆうぐん

住職 ぢやく

禪 ぜん

五言 六言

六十六

むか

す

千賀鹽竈 ちがのしほがま

鎮懷石 ちんくわいし

長生殿 ちやうせいだん

長流水 ちやうれいすい

以血洗血 いけつせんけつ

中和節 ちゆうわつせつ

地水火風 ちすいふくふう

沈丁花 ちんていけ

智恩報徳 ちおんほうとく

長公主 ちやうこうしゆ

長奉送使 ちやうほうそうし

張果老 ちやうこらう

忠仁公 ちゆうにこう

オ

文章假字用格卷一

黄葉園藏

八言

竹馬戲

らびのねくら

長者原

筑前古戦場

らやうどやが

著到帳

來集れ人名と記す帳面と
らやうらやう

中將姫

人名
らやうらやうひめ

中天横死

死 非業死といふ
らやうらやう

地鎮祭

らあづめのまつり

智者不迷

らやいまいぶ

九言

以血洗血

らやうてらやう

鎮東將軍

鎮守府將軍の唐名なり
らんとらやう

長汀極浦

らやうていりやう

十言

十一言

著馱政

らやくたのまつりごと

五月、行ふ公事

長者不飽富

らやうぶあふ

諺

忠言逆耳

らやうげん

諺

利部

一言

利 唎 梨 釐 里 理 離 隣

二言

龍

たつみり
りゅう

流

りゅう

雷

りゅう

溜

りゅう

柳

りゅう

隆

りゅう

立

りゅう

粒

りゅう

離婁

りゅう
孟子の篇名

李白

りゅう
人名

利害

りゅう

龍

りゅう
吳音

三言

陵

りゅう

凌

りゅう
あつらひ

綾

りゅう
あつらひのあや

利刀

りゅう

臨時

りゅう

輪廻

りゅう
六道輪廻を罪深き者
うむことありと云ふ

龍頭

りゅう

梨花

りゅう
かたはな

輪鼓

りゅう
器

流沙

りゅう
地名

流義

りゅうぎ

梨花

りゅう
かたはな

魍魎

りゅう
魍魎

利養

りゅう
怨美

靈

りゅう

良

りゅう

兩

りゅう

亮

りゅう

梁

りゅう

量

りゅう

糧

りゅう

涼

りゅう

令

りゅう

冷

りゅう

領

りゅう

利口

りゅう

離縁

りゅう

離宮

りゅう
天子は出遊は宮

四言

文章假字用格卷一の

黄葉園藏

よ つ ひ う

旅行	綾羅	閻巷	立身
律法	立冬	律僧	臨幸
立秋	輪寶	輪燈	臨幸
隣郷	林檎	輪藏	溜飲
龍燈	柳絮	龍王	龍顏
流行	立用	柳黛	龍堂
流例	龍腦	柳營	琉球
流涕	龍象	流水	六合
龍神	流星		

閻六里の門巷ハ田の道なり

臨幸 行幸と同じ

龍顏 天子の顔

龍堂 將軍の居所なり云り周匝夫の故事あり

六合 四方上下を云り

ふ ひ

六藝	良夜	靈供	利生	六朝	兩部	良醫	痢病	兩義	立花
禮樂射御書數	領解	領地	領地	兩部	良醫	痢病	痢病	兩義	立花

晋宋齊梁陳隋の六代を云り

京師六角堂の僧一流の先花をいせり是を池坊流と云

よ つ ひ

慮外	綠草	臨光	臨濟派	隣境
旅館	律令	臨濟派	臨濟派	隣境
綠苔	律宗	臨濟派	臨濟派	隣境

五言

文章假字用格卷一

黄葉園藏

悵惜 アムシキヤク

淋病 アムシビヤク 病

龍章 アムシキヤク

陸梁 アムシキヤク

天子天子に喪つるの良媒 アムシキヤク

領内 アムシキヤク

兩方 アムシキヤク

婦人婦人アムシキヤク

靈山 アムシキヤク

力量 アムシキヤク

説利害 アムシキヤク

龍眼肉 アムシキヤク

龍腦香 アムシキヤク

琉球薯 アムシキヤク

領掌 アムシキヤク

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

臨終 アムシキヤク

柳下惠 アムシキヤク

經卷經卷のつらり其文彩よ

領納 アムシキヤク

兩様 アムシキヤク

領主 アムシキヤク

良辰 アムシキヤク

涼月 アムシキヤク

立願 アムシキヤク

呂洞賓 アムシキヤク

龍頭蛇 アムシキヤク

隆達曲節 アムシキヤク

柳花苑 アムシキヤク

龍涎香 アムシキヤク

良將 アムシキヤク

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

林鐘 アムシキヤク

龍造寺 アムシキヤク

柳子厚 アムシキヤク

諒闇 アムシキヤク

兩替 アムシキヤク

領分 アムシキヤク

良友 アムシキヤク

良人 アムシキヤク

涼天 アムシキヤク

利根草 アムシキヤク

立錐之地 アムシキヤク

流觴會 アムシキヤク

甘諸 アムシキヤク

理當然 アムシキヤク

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

六言

靈山 アムシキヤク

力量 アムシキヤク

説利害 アムシキヤク

龍眼肉 アムシキヤク

龍腦香 アムシキヤク

琉球薯 アムシキヤク

領掌 アムシキヤク

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

立願 アムシキヤク

呂洞賓 アムシキヤク

龍頭蛇 アムシキヤク

隆達曲節 アムシキヤク

柳花苑 アムシキヤク

龍涎香 アムシキヤク

良將 アムシキヤク

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

利根草 アムシキヤク

立錐之地 アムシキヤク

流觴會 アムシキヤク

甘諸 アムシキヤク

理當然 アムシキヤク

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

文章假字用格卷一

七言

閻巷説

アヨコウのセウ

六甲祕咒

アウフイジウ

道家は九字あり邪魅
衆難と避るれ咒

臨機應變

アムコウヘン

臨時祭

アムドノまつり

龍膽花

アムレンのこゝろ神

龍宮城

アムコウジウヂウ

琉球躑躅

アムキウジウジ木

兩頭蛇

アムコウコウヂウ虫

八言

綾羅錦繡

アムコウラキムコウ

兩部習合

アムコウフヂウヘン神佛二致の美

九言

やよ

龍頭鶴首

アムコウコウケシウ舟のこゝろ

良智良能

アムコウラキムコウ

不見兩夫

アムコウコウヂウ貞

十言

十一言 十二言

綸言如汗

アムンゲンコウセのあせ天子の号令ハ汗のワツボが
アセ出て来る事

臨終正念

アムンヂウコウヂウヘン

良藥苦口

アムコウヤクコウヂウヘン諺

兩雄不俱立

アムコウコウヂウコウヂウヘン

兩虎二龍鬪

アムコウコウヂウコウヂウヘン

奴部

二言 三言

七十二

一言

ぬ

奴怒努努農濃

農濃二字古ハ奴の假字 あり和名抄の頃より乃の假字に用ふるハ誤なり

二言

鶴

ぬ鳥え

鷓

ぬ同え

縫殿

ぬ官名い

縫

ぬぬいぬい

三言

額田

ぬ氏く

奴隸

ぬ下男のてい云い

尊

ぬ水草い

温井

ぬぬくぬ氏

拭

ぬぬいぬい

沼津

ぬ地名まづ

沼江

ぬぬまえ

縫緒

ぬぬいぬ

縫目

ぬぬいぬ

緘

ぬぬいぬ

綜緝

ぬぬいぬ

ひま ぐなれか

ひえ

ひきけ まれかりと

え けれ

四言

射干玉

ぬ夜の枕詞よりいぬ

塗板

ぬぬいぬ

塗桶

ぬぬいぬ

稽首

ぬぬいぬ

叩頭

ぬ礼拝するにいぬ

饅茹

ぬ食物いぬ

沼井

ぬぬいぬ

沼水

ぬぬいぬ

拔出

ぬ抜置けぬいぬ

施索

ぬ馬具いぬ

縫合

ぬぬいぬ

繡

ぬぬいぬ

五言

沾通

ぬ庶人ハ神宮へ参詣するにいぬ

萬葉ありぬ通り行なり

抜叅

ぬぬいぬ

庶人ハ神宮へ参詣するに

奴要子鳥ぬ五葉ありぬいぬ鳥

六言

文章假字用格卷一

黄葉園藏

塗籠藤ぬりかぶらわりのめいろう

布帽額ぬいぼうがくわりのめいろう

侍廬の御所ニ布のめいろうと引あり

七言

精細人

わけめいさひと

偷長

わけびとめあさ

八言

類田明神

わうごまうとん

伊勢あり

留部

一言

る

留流琉瑠類累盧蘆屢樓

二言

類

れいれいるお

累

るお

涙

るお

三言

流通

通達するるつう

流窄

るらう

類句

詩句の類句るわく

系祖

先祖代々云りるおそ

流刑

島がるけい

流罪

遠島のりるざい

番守居

るびお

四言

る 二三四六七言

七十四

流注 るちゆう ^病

瑠璃鳥 るるり ^鳥

類同 るねどう

淚竹 るわらく ^{斑竹}

決行 るけきう

累代 るねだい

類題 るねだい ^{書名あり}

類例 るねれい

類火 るねくわ ^{類焼と同ト}

決痕 るねこん ^{ふしみのあせ}

累葉 るねえふ ^{奕葉ともいひ}

類例 るねれい ^{代あり}

累日 るねじつ

類焼 るねせう

累七 るねしち ^{全死とて七の追善と累七といふ又齋七とも云り}

類例 るねれい

六言

流支三藏 るしさんざう ^{人名}

七言 九言

縲綆恥 るおせらのちぢ ^{ふいめようふるこてんて}

以類聚 るおとめていれいしる

遠部

一言

を二言

七十五

をヲ

袁遠乎呼弘鳥鳴鳩怨越叫惋迴曰惡汗音男

陽夫士丁雄牡尾小少緒絃麻苧峯岑岡丘侵矣訓

二言

伯母

をバ

終

をへ

遠

をら

伯父

をぢ

老翁

をぢ

藝臺

をら菜

園檻

をり

五

をり

折

をり

居

をり

唯

をり

五

をり

園

をん

小田

をぢ

噓

をそ

獺

をそ獸

園

をん

温

をん

穩

をん

遠

をん

小野

をの

芥

をの

屋

をく

雄

をう

楠

をゆ

嗚呼

をこ

長

をこ

箴

をさ

萩

をさ

小忌

をこ

鴛鴦

を

惜

を

愛

を

食

を

鴛鴦

を

麻殖

を

甥

をい

鴛鴦

を

鴛鴦

を

麻殖

を

甥

をい

鴛鴦

を

鴛鴦

を

麻殖

を

三言

蛇

をら

終

をり

尾張

をり

小畑

をり

文章假字用格卷一

黄葉園藏

むろ

ひま

あま

さ

け

の

う

むつ

むつ

か

り

ら

むつ

とや	とや	とや	とや	とや	とや	とや	とや	とや	とや
文章假字用格卷一	四言								
早	早	早	早	早	早	早	早	早	早
前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年
前日	前日	前日	前日	前日	前日	前日	前日	前日	前日
黄葉園藏									

けま	くのうむ	かり	とや	とや	とや	とや	とや	とや	とや
小止	小栗	小内	犯	麻幹	小川	少女	踊	尾花	尾花
小股	麻鞋	牡馬	小槻	拜	岡部	雄	雄	芒花	芒花
陽松	童男	小野木	遠流	惡寒	尾形	越度	男	尾株	尾株
白朮	小倉	尾上	可咲	緒方	折句	折句	未通女	躍	躍

二言 三言

七十六

さふや く の ひたか り ち

條く きらく

遠里小野つら

折節つら

折櫃つら

温湯つら

温和つら

恬つら

蒙籠つら

遠方つら

時節つら

楓つら

遠國つら

男兒つら

小車つら

小山田つら

彼方つら

折柄つら

折琴つら

茅環つら

温公つら

小野寺つら

小栗栖つら

男衾つら

遠近つら

折紙つら

小田切つら

毒つら

穩便つら

尾道つら

小車梅つら

了事つら

三言 四言

七十七

とや す ぶ き

雅つら

理つら

和尚つら

和尙つら

小兒つら

網つら

飲食つら

赤箭つら

小字つら

長船つら

鴛鴦つら

食國つら

治つら

荻原つら

葦つら

文章假字用格卷一

五言

赤箭つら

男親つら

遊俠つら

男文字つら

俠客つら

真書と平假名と

茶花つら

黄葉園藏

苜蓿

草

茵芋

草

小笠原

氏

怨靈

女文

女文

女文

温石

温石

小倉山

山城葛野郡あり

桶狭間

尾州智多郡あり

嗚呼者

嗚呼者

治世

女郎花

女郎花

草

小忌衣

小忌衣

小鹽山

山城訓郡あり

六言

娛捨山

信州あり

鰐

正月十四日あり公事あり
女踏哥は同十六日あり

憧柄

橋の梁の左右の柱をいり

男踏歌

遠方人

遠方人

遠方人

遠方人

遠賀湊

陽神陰神

陽神陰神

女道

女道

女道

女使

寡

寡

園城寺

園城寺

園城寺

桶捲胴

懼怕

懼怕

芋屑頭巾

芋屑頭巾

芋屑頭巾

七言

喚叫

喚叫

喚叫

喚叫

喚叫

百千返鳴

女工

女工

女工

女工

女工

尾上社

小野道風

小野道風

小野道風

小野道風

小野道風

治部省

女郎花月

女郎花月

女郎花月

女郎花月

女郎花月

八言

九言

文章假字用格卷一

黄葉園藏

岡本都

うらみりのみやこ

大和の國あり人皇
三十五代舒明天皇

修理職

うらみりうらみり

官名

文章假字用格卷之一終

